ORACLE CLOUD PLATFORM

Oracle Cloudへようこそ

はじめての Oracle Cloud Platform

日本オラクル株式会社
カスタマーサクセス本部

2018年 11月

ORACLE

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

以下の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloudへようこそ

はじめての Oracle Cloud Platform

- Oracle Cloud Platform とは
- サービスの開始
- Oracle Cloud PaaS & IaaS サービス・ポリシー
- 課金について押さえておきたいポイント
- サービスの終了
- よくあるお問い合わせ
- 参考資料のご案内

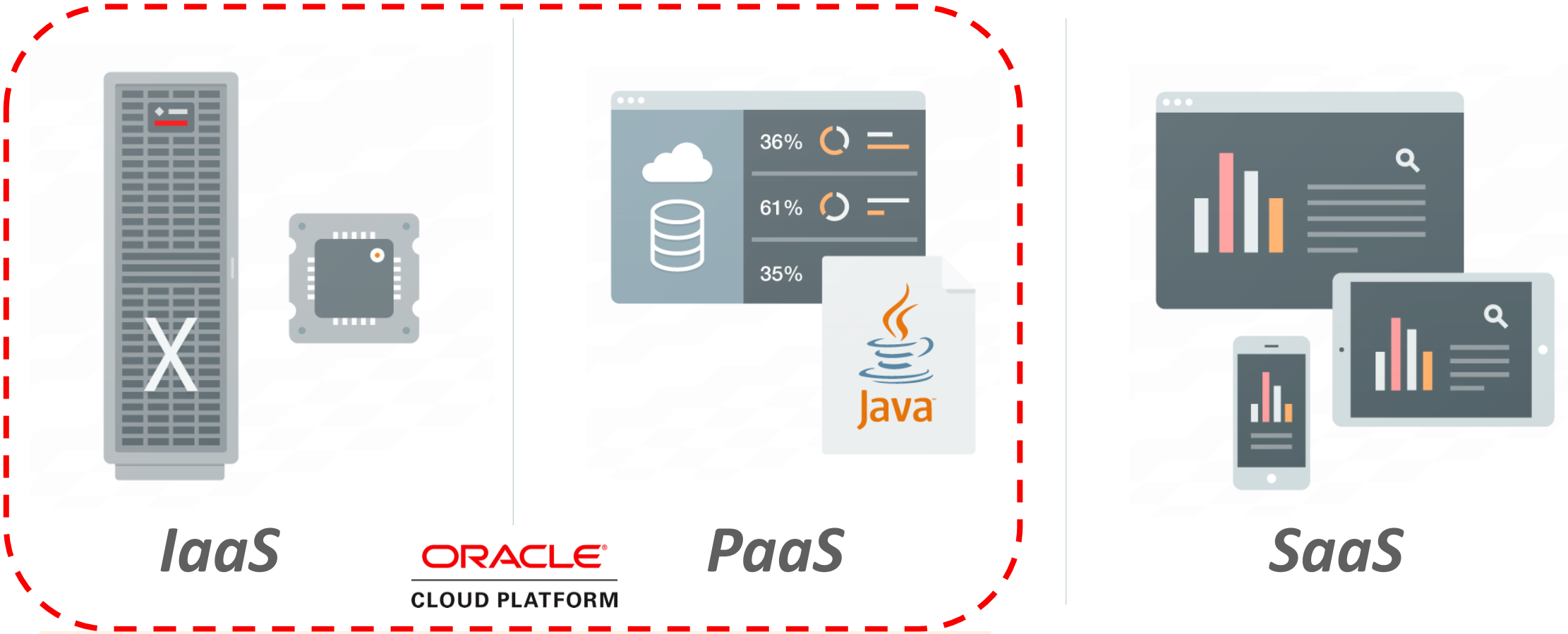
本資料の内容は2018年11月19日時点の情報に基づいて構成されています。
内容は予告なく変更されることがありますのでご注意ください。
また本章の説明と一般公開された各種文書の間に矛盾がある場合は公開文書を正とします。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud Platform とは

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

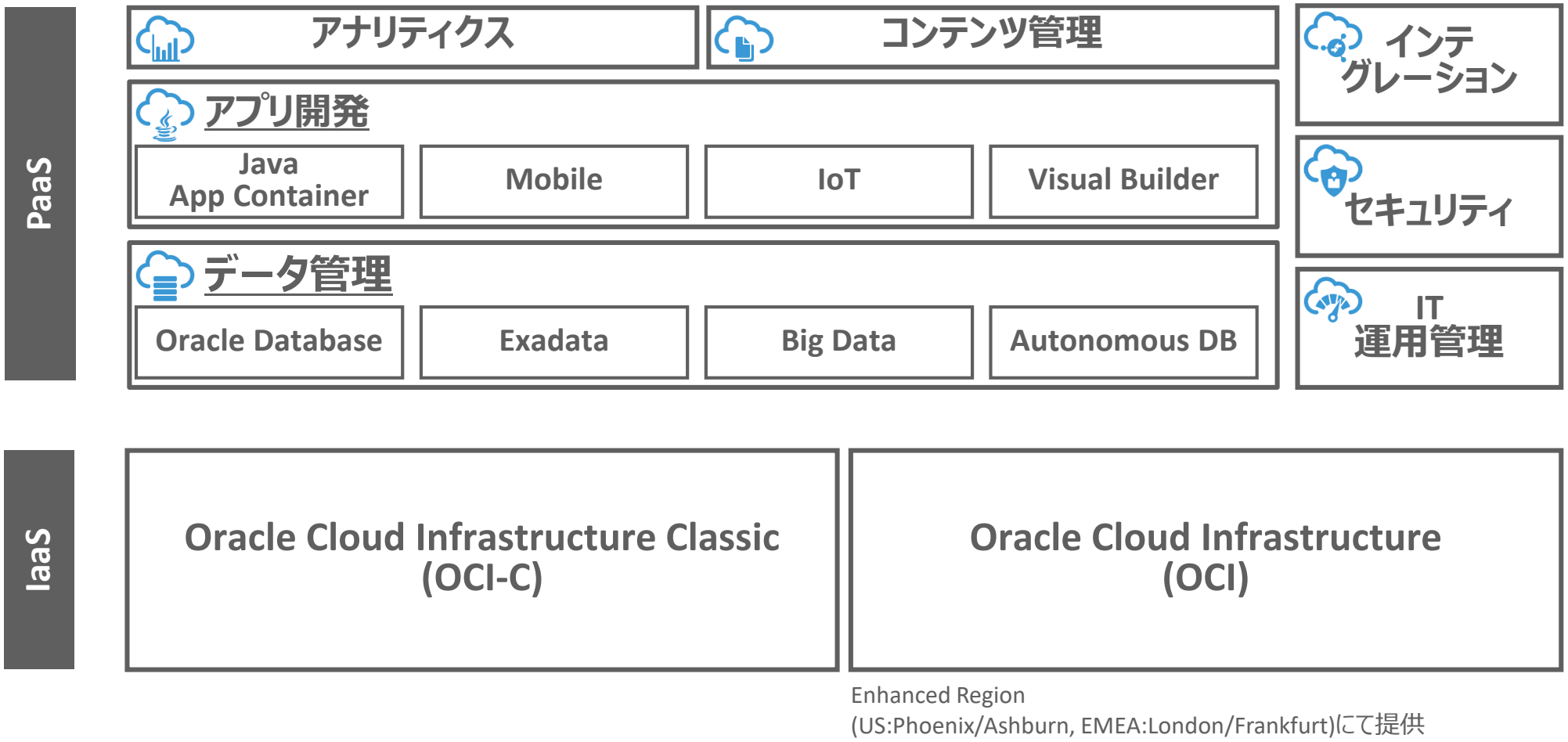
Oracle Cloud: 全てのレイヤーで多様なサービスを提供



クラウド基盤を支えるOracle Cloud Platform

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud Platform: PaaS と IaaS



Enhanced Region
(US:Phoenix/Ashburn, EMEA:London/Frankfurt)にて提供

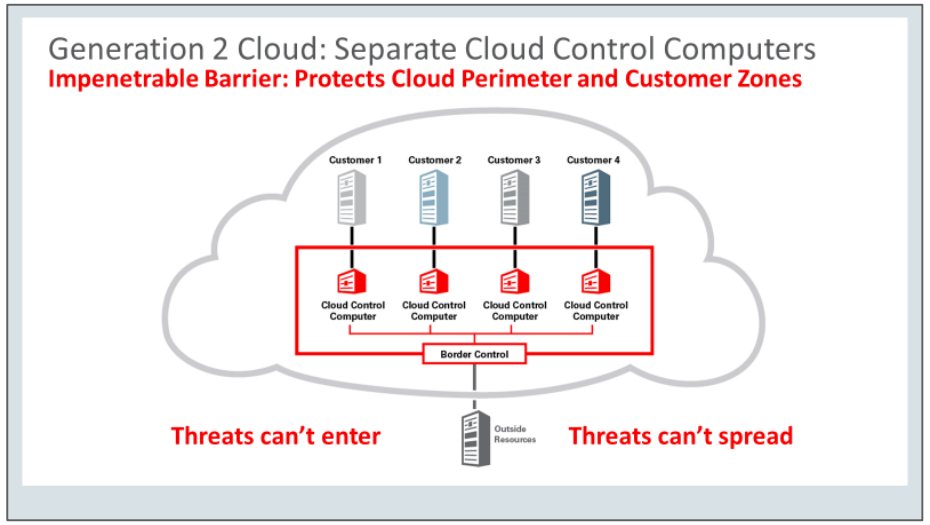
※ EMEA: Europe, Middle East and Africa

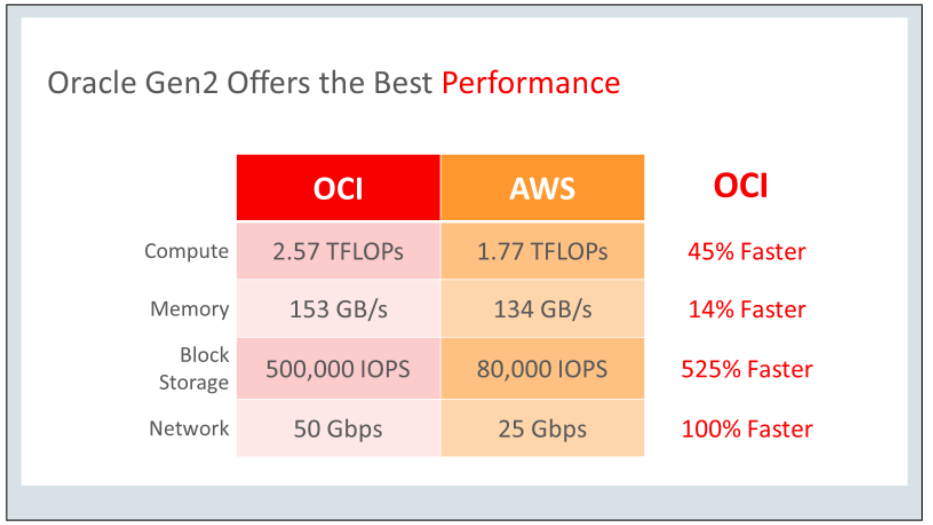
Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Open World 2018 @サンフランシスコ(10/22 – 10/25)

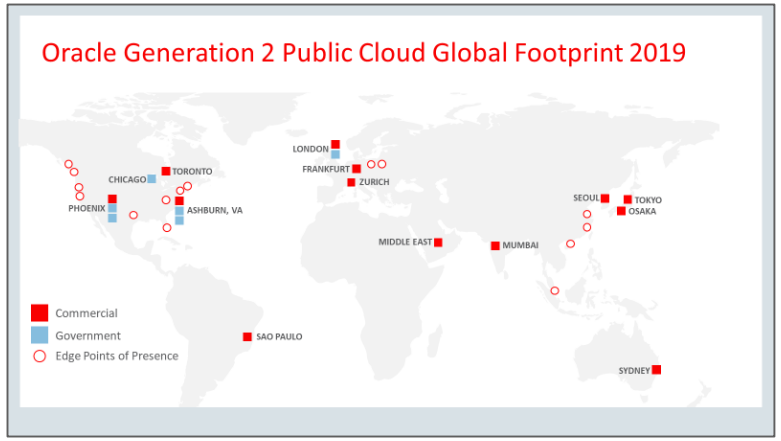
Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

【注目トピック1】Generation 2 Cloud - セキュリティ & パフォーマンス





ユーザ環境とそれをホストする環境を完全に分離し、セキュリティを確保。



競合他社と比較して高いパフォーマンスと高い投資対効果

Gen 2 Cloud のデータセンターを世界に展開。日本も計画中（東京、大阪）

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

【注目トピック2】Autonomous Database - ワークロードに最適化

Autonomous Data Warehouse (ADW)

すべてのデータ分析処理に最適化:
- データウェアハウス、データマート
- データレイク、機械学習

Autonomous Transaction Processing (ATP)

OLTPおよび混合ワークロードに最適化：
- トランザクション処理、バッチ、レポーティング、IoT
- アプリケーション開発、機械学習

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

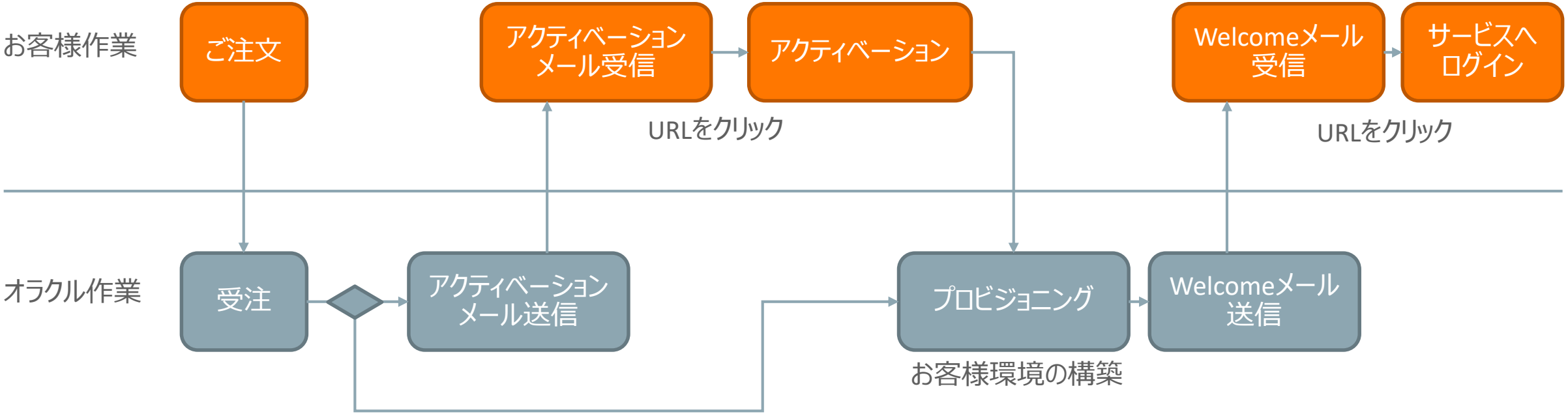
サービスの開始

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

クラウド・サービス利用開始までの流れ

ご注文 → メール受信 → アクティベーション → メール受信 → 利用開始

「アクティベーション」とは？
- ご注文を確認いただく
- クラウド・アカウント名を指定する
- デフォルト・データ・リージョンを選択する



※ アクティベーション作業がない（不要な）ケースがあります。
（東日本データセンターでご契約の場合、特定の商流でのご契約の場合、など）

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

アクティベーション作業

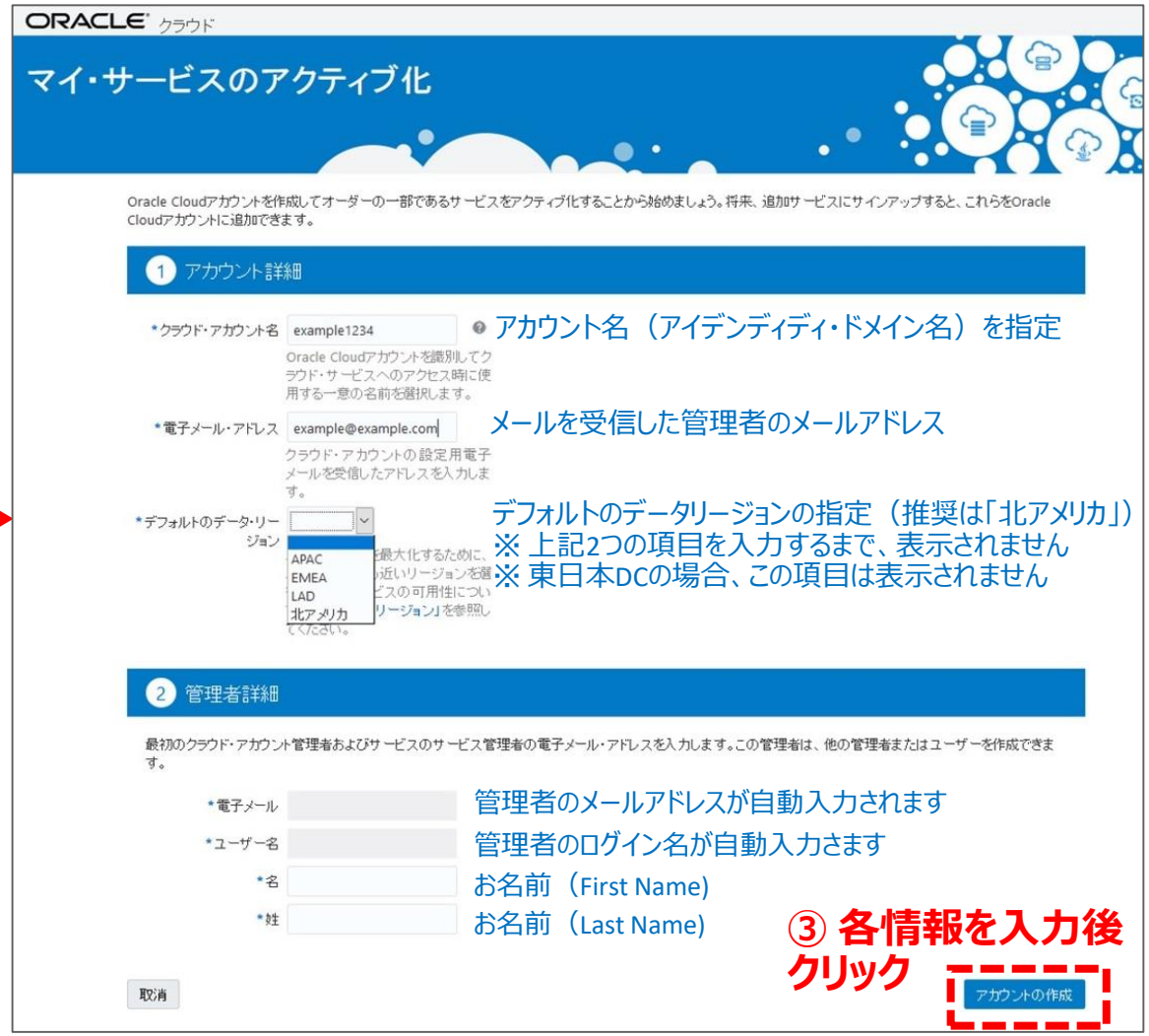
<u>海外DCの場合、また、東日本DCにおいてもご契約の形態によって</u>、ご契約後に手動設定を促す下記メールがお客様の管理者として指定したユーザーに送信されます。ガイドに従ってアカウント設定します。

件名： Welcome to Oracle Cloud. Setup your account.

差出人： Oracle Cloud [oraclecloudadmin_ww@oracle.com]

① クリックして設定作業開始

② Oracle.com にログイン (必要な場合のみ)



④指定した管理者にWelcomeメールが送付されます

※ Oracle.comプロファイルの作成方法はこちらをご参照ください。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

アクティベーション作業 デフォルト・データ・リージョンの選択

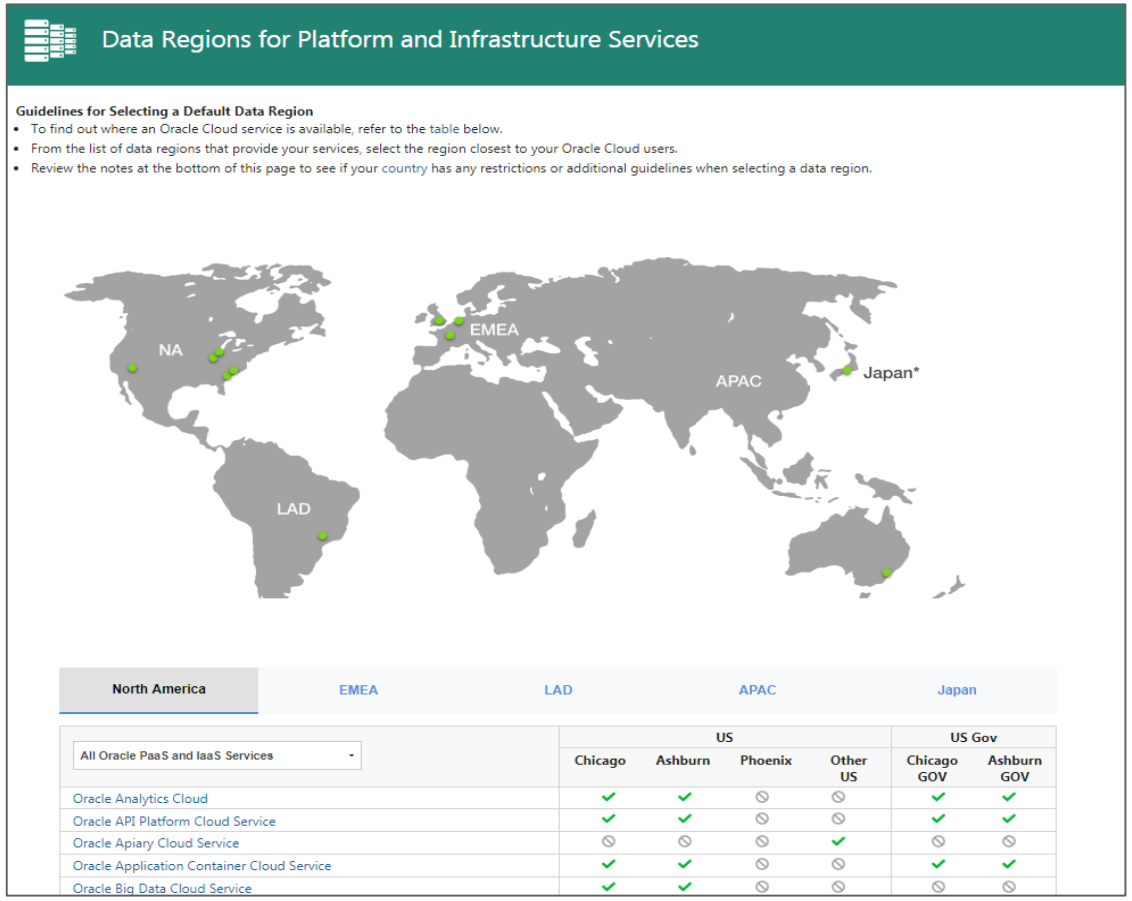
アクティベーション時に、利用するデフォルトのデータ・リージョンを選択します。

- データ・リージョン毎に利用可能なサービスが異なります。利用可能サービス一覧は弊社サイトにて確認いただけます。（右記ウェブサイト）
- 日本からご利用の場合、推奨デフォルト・データ・リージョンは「北アメリカ」となります。「北アメリカ」を選択してください。

  ※ 右記ウエブサイトより : *For China, Hong Kong, Japan, South Korea, Malaysia, Philippines, Thailand and Vietnam, pick North America as the Default Data Region.*
- アクティベーション後、その他のデータ・リージョンにも追加登録しご利用頂くことが可能です。
- 東日本DC (Japan Region) は、デフォルトのデータ・リージョンに指定できません。

  ※ 右記ウエブサイトより - *Tatebayashi, Japan is an independent data region, and it has region-specific provisioning controls.*

https://cloud.oracle.com/data-regions



Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Welcomeメールの受信 サービスの開始

ご注文後、サービス環境の準備が完了すると、お客様の管理者に指定したユーザーにWelcomeメールが送信されます。

件名： Welcome to Oracle Cloud. Your Oracle Public Cloud Services are ready for use.

差出人： Oracle Cloud [oraclecloudadmin_ww@oracle.com]

Welcomeメールには、マイ・サービスにログインするための以下の情報が含まれています。

- **ユーザー名**
- **一時パスワード**
- **クラウド・アカウント名**
- **マイサービスへのリンク**

東日本DC：クリックすると従来のクラウド・アカウントのマイ・サービスのログイン画面に移動。

海外DC：クリックするとIdentity Cloud Service を使用したクラウド・アカウントのマイ・サービスのログイン画面に移動。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Welcomeメールの受信 カスタマ・サポートID(CSI番号)の確認

Welcomeメールの下部に**8桁のカスタマ・サポートID(CSI番号)**のご案内があります。こちらの番号で、サービス・リクエスト(SR)の起票が可能になります。

このメールを受領した方は サポートIDの管理者(CUA)として登録されています。

Oracle Cloud Support ご利用ガイド ユーザー登録・管理（PDF）

Oracle Cloud Support ご利用ガイド SR作成・管理（PDF）

Oracle Cloud サービスをご購入いただいたお客様は、My Oracle Supportよりオラクル・カスタマ・サポートがご利用いただけます。

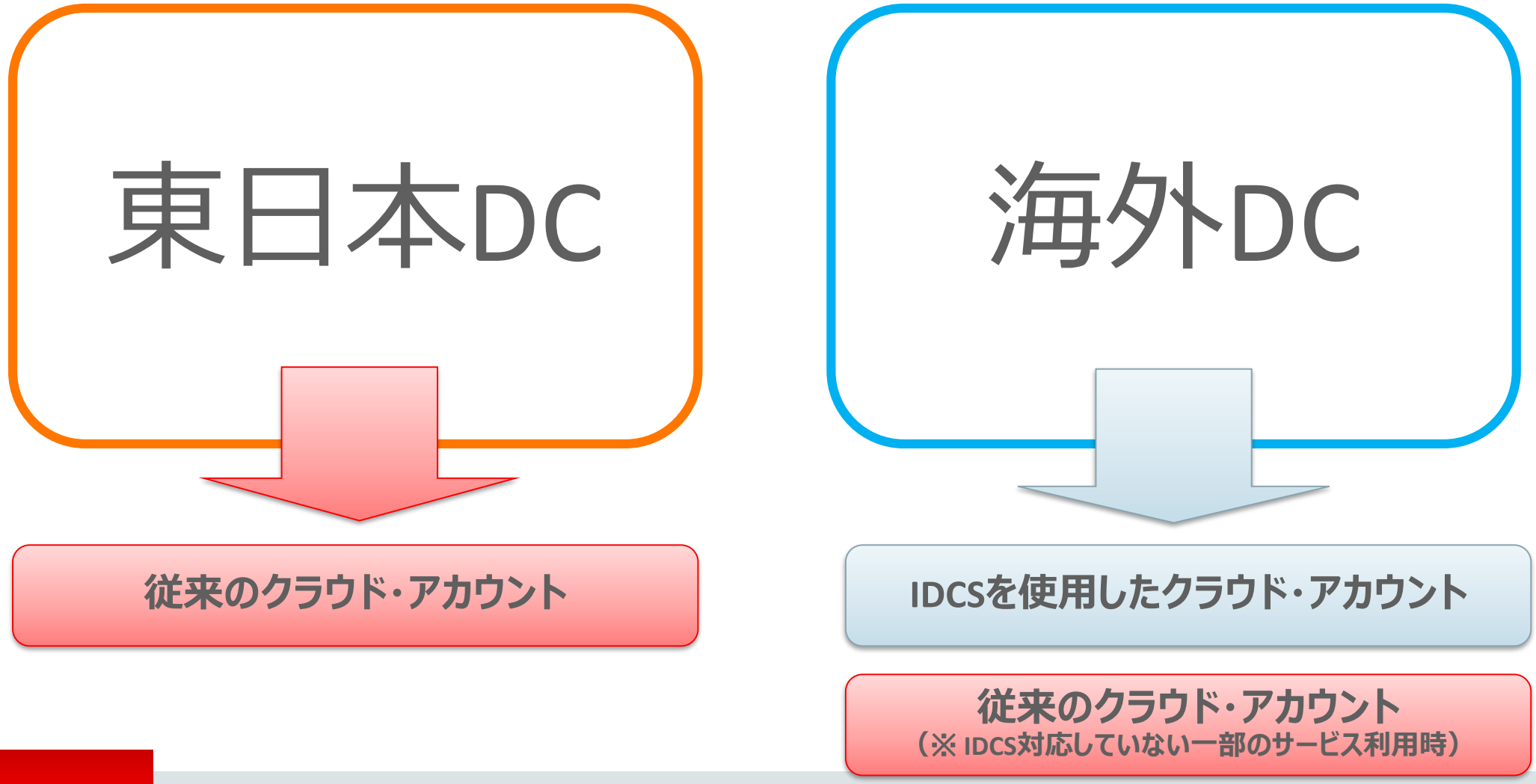
Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

２つのクラウド・アカウント

	従来のクラウド・アカウント (Traditional Cloud Account)	IDCSを使用したクラウド・アカウント (Cloud Account with Identity Cloud Service)
概要	従来からのOracle Cloud環境の管理方式	新しいOracle Cloud環境の管理方式
呼称	アイデンティティ・ドメイン	クラウド・アカウント
ユーザー管理方法	Shared Identity Management (SIM)	Oracle Identity Cloud Service (IDCS)
提供されるポータル	管理者および利用者用：「マイ・サービス」 管理者用：「マイ・アカウント」	「マイ・サービス」
備考		下記のサービスは、現時点ではIDCS対応してないため、 従来のクラウド・アカウントを利用する必要があります。 • Exadata Express Cloud Service • Messaging Cloud Service • Data Visualization Cloud Service

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

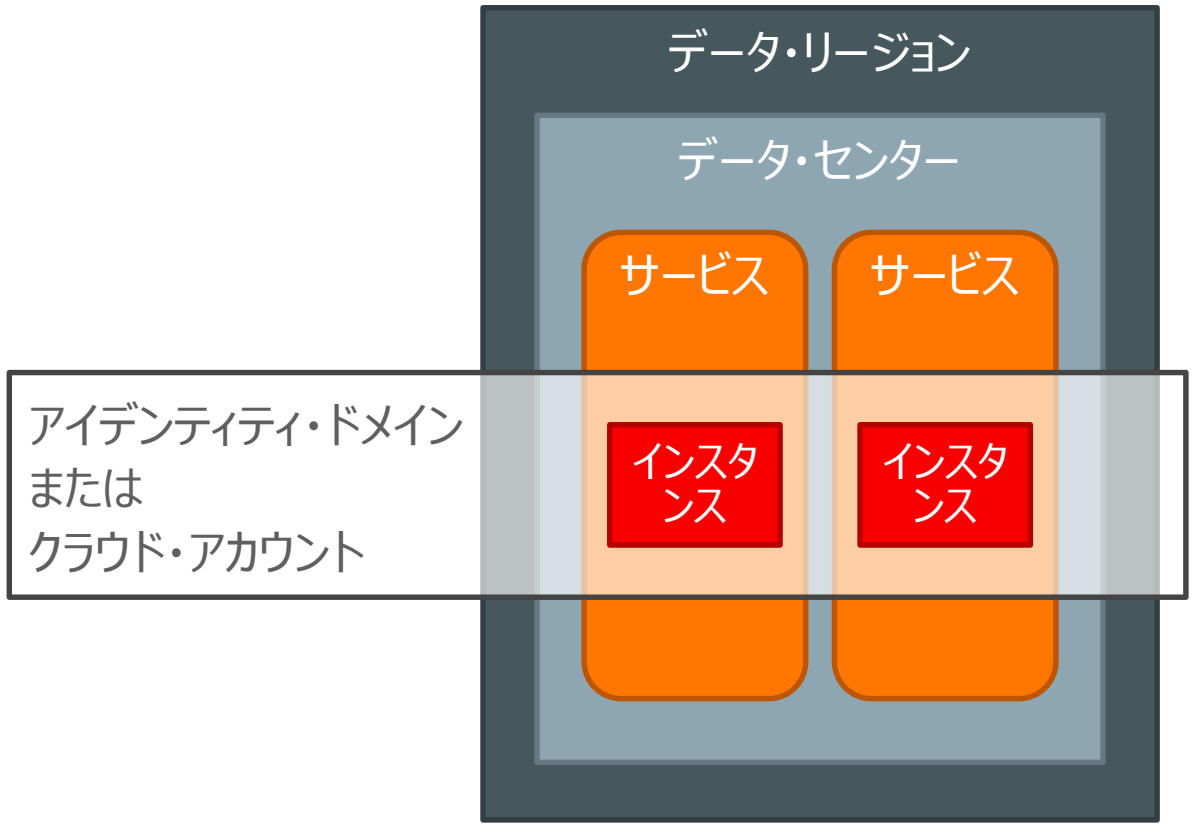
ご利用のデータセンターはどちらですか？



Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

【参考】Oracle Cloud の用語

アイデンティティ・ドメイン / クラウド・アカウント / データ・リージョン / データ・センター / サービスの関係



※理解促進のためのイメージ図であり、実際の実装を正確に表現したものではありません。

用語	具体例	説明
アイデンティティ・ドメイン	a123456, ABCcorp01	お客様固有のクラウド環境を識別するID
クラウド・アカウント		
データ・リージョン	NA(北アメリカ)、EMEA(ヨーロッパ、中東、アフリカ)、APAC(アジア・パシフィック)、LAD(ラテン・アメリカ)、Japan(日本)	1つまたは複数のデータ・センターに関連付けられる地理的な地域
データ・センター	US Commercial 2(us2) APAC Commercial 5 (ap5) Chicago, London, Sydney	1つまたは複数の物理的なセンターから構成される
サービス	Database Cloud Service Compute Cloud Service	提供されるサービス

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

サービスの開始
- マイ・サービスへのサインイン：従来のクラウド・アカウントの場合

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud ポータル画面

Oracle Cloud Portal (https://cloud.oracle.com)

各サービスの詳細情報を提供しています。

例：概要、価格 、もっとよく知る（マニュアル・記述資料）、顧客事例

右上で言語を日本語に設定可能。

右上の「サイン・イン」をクリックするとOracle Cloudサービスのサインイン画面に遷移します。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud ポータル サインイン画面

マイ・サービスへのログイン
サービスの利用者が主に使用するサイト
- 各アイデンティティ・ドメインへのログイン
- JCS, DBCS等の各サービスの利用
- サービス毎のモニタリング
- サービス管理者作成
- ユーザーの権限変更

マイ・アカウントへログイン
お客様アカウント全体の管理
(要Oracle.comアカウント)
- アカウント管理
- サービス全体のモニタリング
- アイデンティティ・ドメイン名変更
- アイデンティティ・ドメイン管理者作成

https://cloud.oracle.com/ja_JP/sign-in

サインイン情報の取得
- 利用可能なドメインの確認
- 利用可能なサービスの確認

一覧がメール配信されます

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

サインイン　クラウド・アカウントの選択：

サインイン画面のクラウド・アカウントよりサインイン先を選択します。

アカウント種別を指定します

「従来のクラウドアカウント」を選択

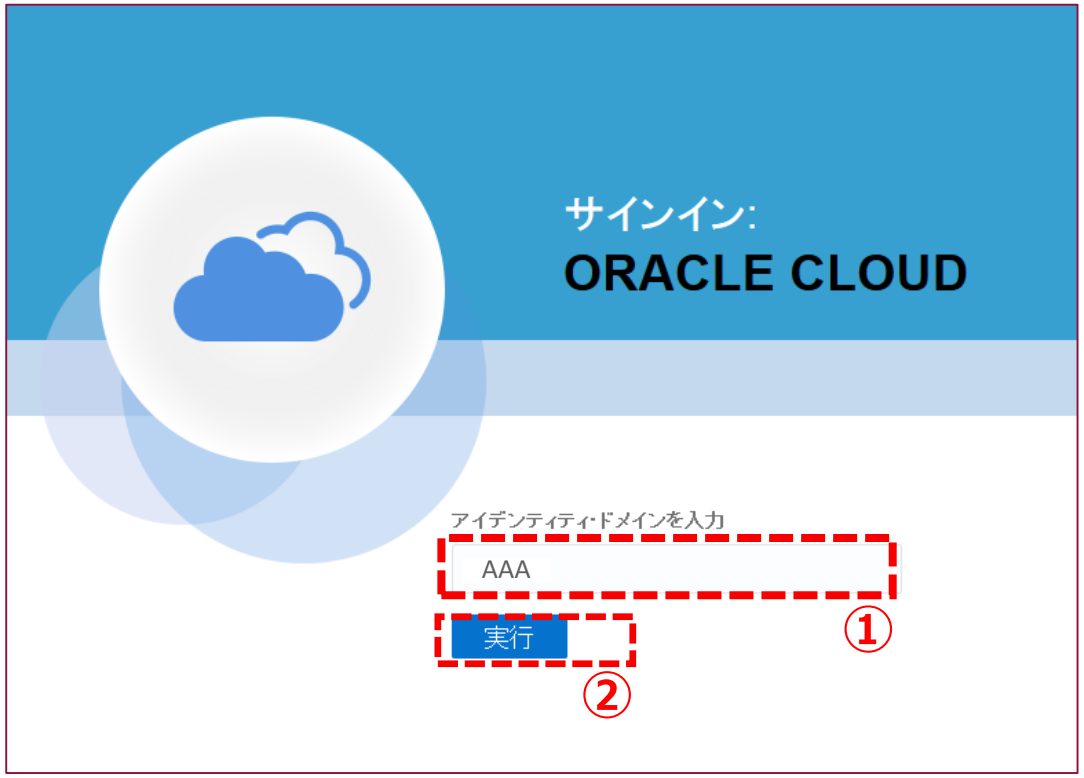
※　アカウント種別がご不明な場合は営業またはCSMにご確認ください

東日本 データセンターの場合：
APAC Commercial 5 (ap5)

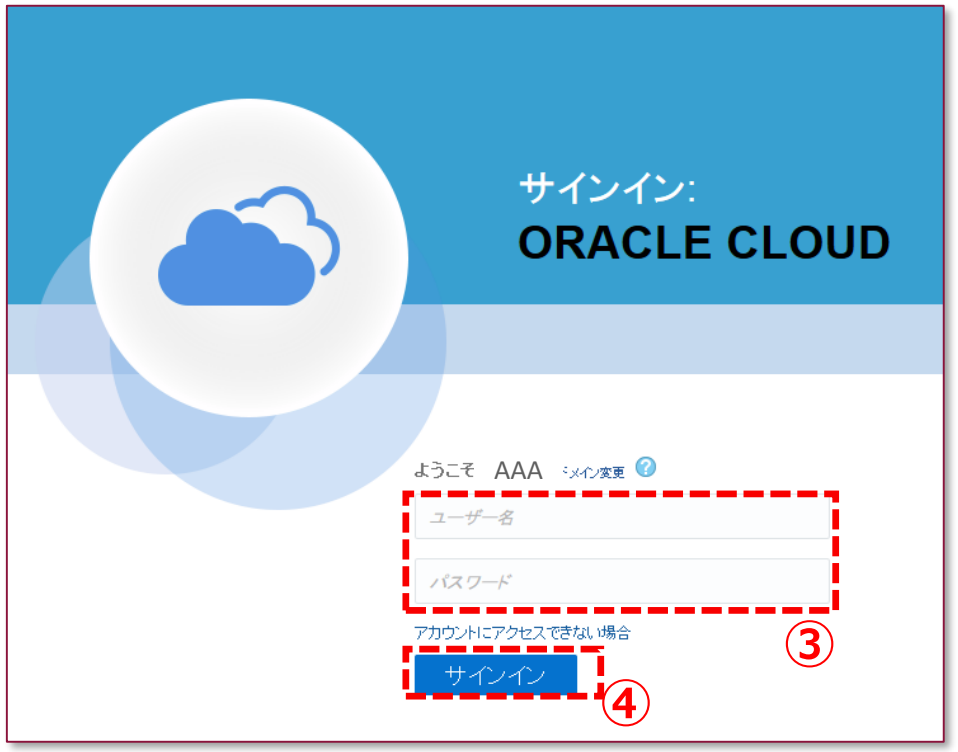
北米データセンターの場合：
Public Cloud Service - US

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

マイ・サービスへのサインイン：



① アイデンティティ・ドメイン名を入力
② 「実行」ボタンをクリック

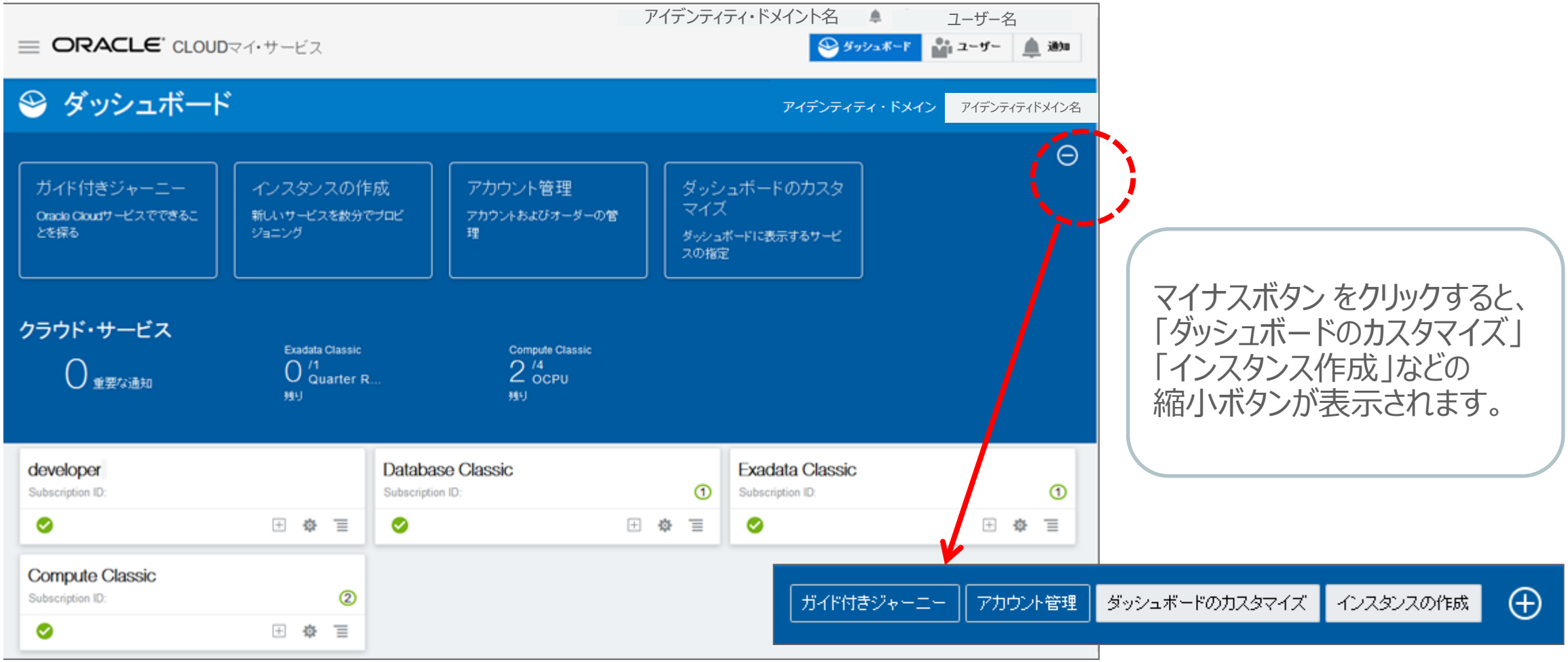


③ ユーザー名、パスワードを入力
④ 「サインイン」ボタンをクリック
初回は、Welcomeメールに記載されている一時パスワードを入力ください。
その場合、次ページで新しいパスワードの入力が求められます。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

マイ・サービスのダッシュボード

マイ・サービスへサインインすると、使用可能なサービス一覧が表示され、使用できます。



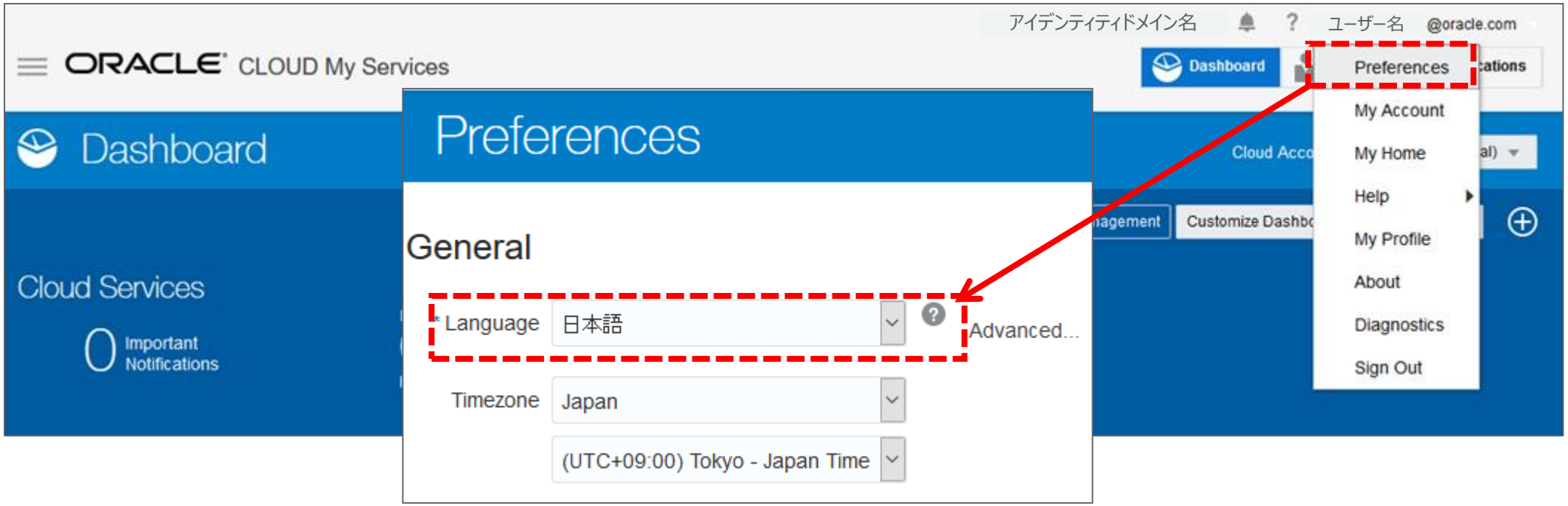
マイナスボタン をクリックすると、「ダッシュボードのカスタマイズ」「インスタンス作成」などの縮小ボタンが表示されます。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

オプション：日本語表示の設定

マイ・サービスから、使用する言語の設定を行うことができます。サービス開始時は英語になっています。

1. マイ・サービス画面の右上のユーザー名をクリックし、プルダウンで表示されたメニューから「Preferences」を選択
2. 「Preferred Language」から「日本語」を選択し、「OK」ボタンをクリック

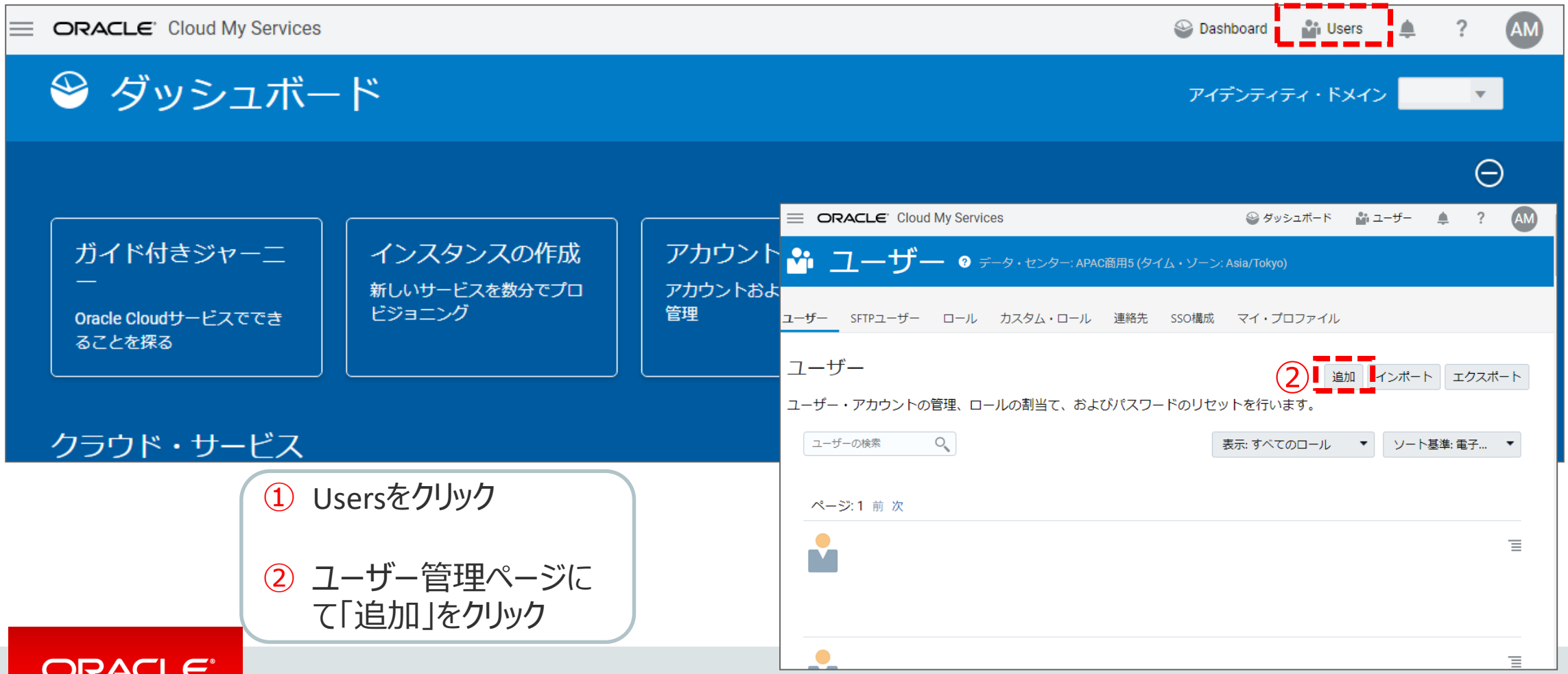


※ サービス管理者ではないユーザーはMy Homeの「My Profile」から表示されるAccount information画面にて「Timezone」と「Preferred Language」を設定します。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

ユーザーの作成とロールの付与

マイ・サービス画面からアイデンティティ・ドメイン内で管理するユーザーの作成や管理が行うことができます。



① Usersをクリック

② ユーザー管理ページにて「追加」をクリック

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

アイデンティティ・ドメイン管理者ユーザー作成例

「ユーザーの追加」のダイアログにて

① 名、姓、ユーザー名を入力

② アイデンティティ・ドメイン管理者をチェック

③ 「>>」ボタンをクリックして選択

④ 選択したロールに「Identity Domain Administrator」があるのを確認して「追加」

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

サービス管理者ユーザー作成例

「ユーザーの追加」のダイアログにて

① 名、姓、ユーザー名を入力

② 「詳細ロール」をクリック

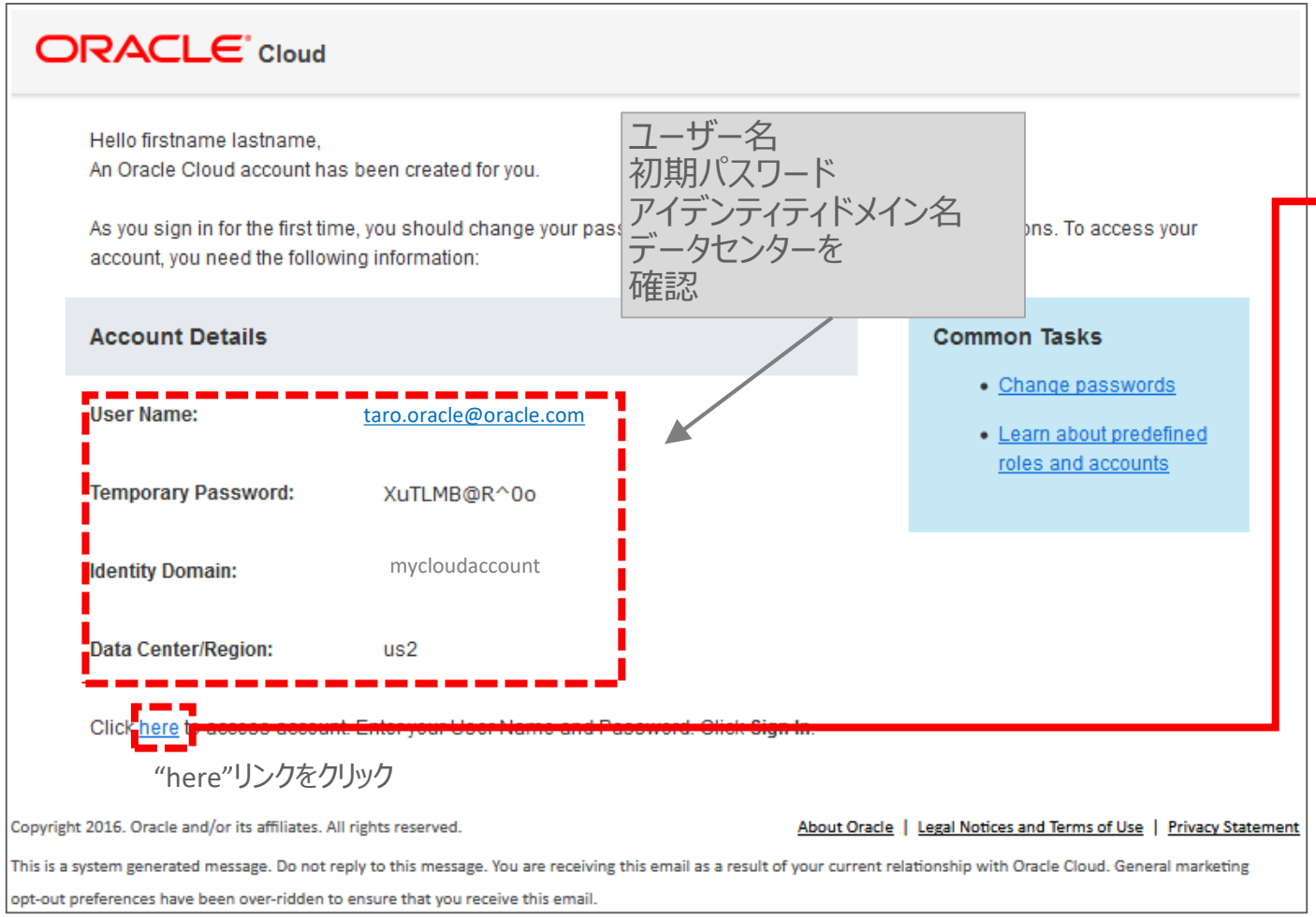
③ 使用可能なロールから該当のロールを選択

④ 「>」をクリックして選択

⑤ 選択したロールに目的のロールが正しくリストされている事を確認して「追加」

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

新規ユーザーのログイン

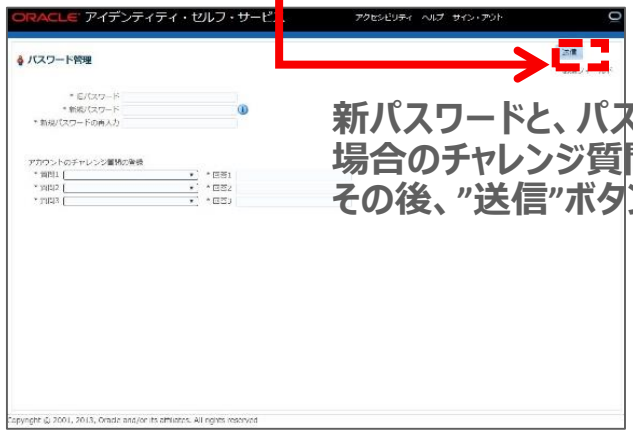


ユーザー名
初期パスワード
アイデンティティドメイン名
データセンターを
確認

“here”リンクをクリック

追加したユーザーに配信されるメール

ユーザー名と一時パスワードを入力し、
“サインイン”をクリック



新パスワードと、パスワードを忘れた
場合のチャレンジ質問を3つ選択し入力
その後、”送信”ボタンをクリック

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

サービスの開始
- マイ・サービスへのサインイン：IDCSを使用したアカウントの場合

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud ポータル画面

Oracle Cloud Portal (https://cloud.oracle.com)

各サービスの詳細情報を提供しています。

例：概要、価格 、もっとよく知る（マニュアル・記述資料）、顧客事例

右上で言語を日本語に設定可能。

右上の「サイン・イン」をクリックするとOracle Cloudサービスのサインイン画面に遷移します。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud ポータル サインイン画面

マイ・サービスへのログイン
サービスの利用者が主に使用するサイト
- 各クラウド・アカウントへのログイン
- JCS, DBCS等の各サービスの利用
- サービス毎のモニタリング
- サービス管理者作成
- ユーザーの権限変更

https://cloud.oracle.com/ja_JP/sign-in

サインイン情報の取得
- 利用可能なドメインの確認
- 利用可能なサービスの確認

一覧がメール配信されます

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

サインイン　クラウド・アカウントの選択：

サインイン画面のクラウド・アカウントよりサインイン先を選択します。

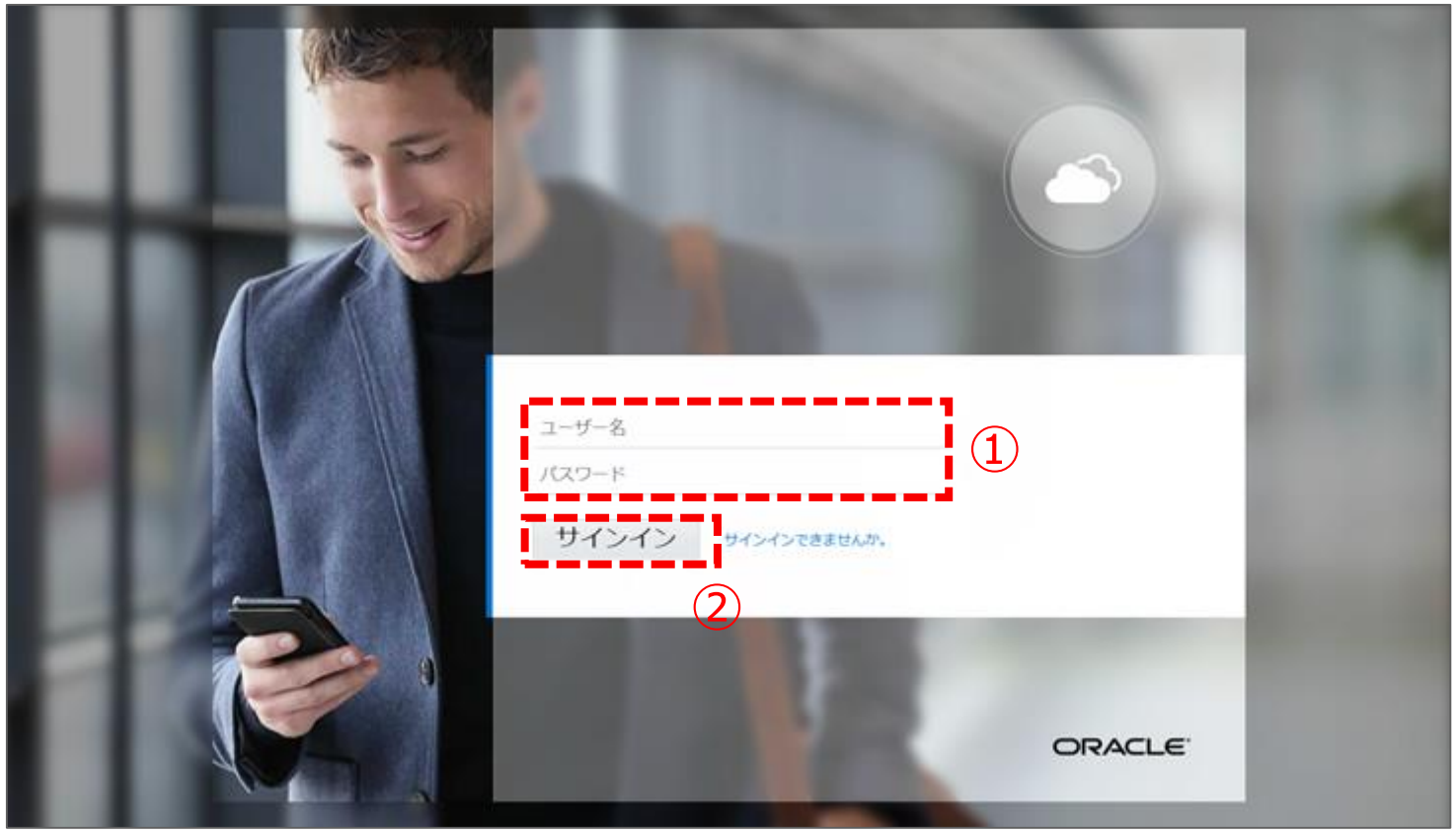
「Identity Cloud Service (IDCS) を利用したクラウド・アカウント」を選択

※　アカウント種別がご不明な場合は営業またはCSMにご確認ください

クラウド・アカウント名を入力

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

マイ・サービスへのサインイン



① ユーザー名とパスワードを入力

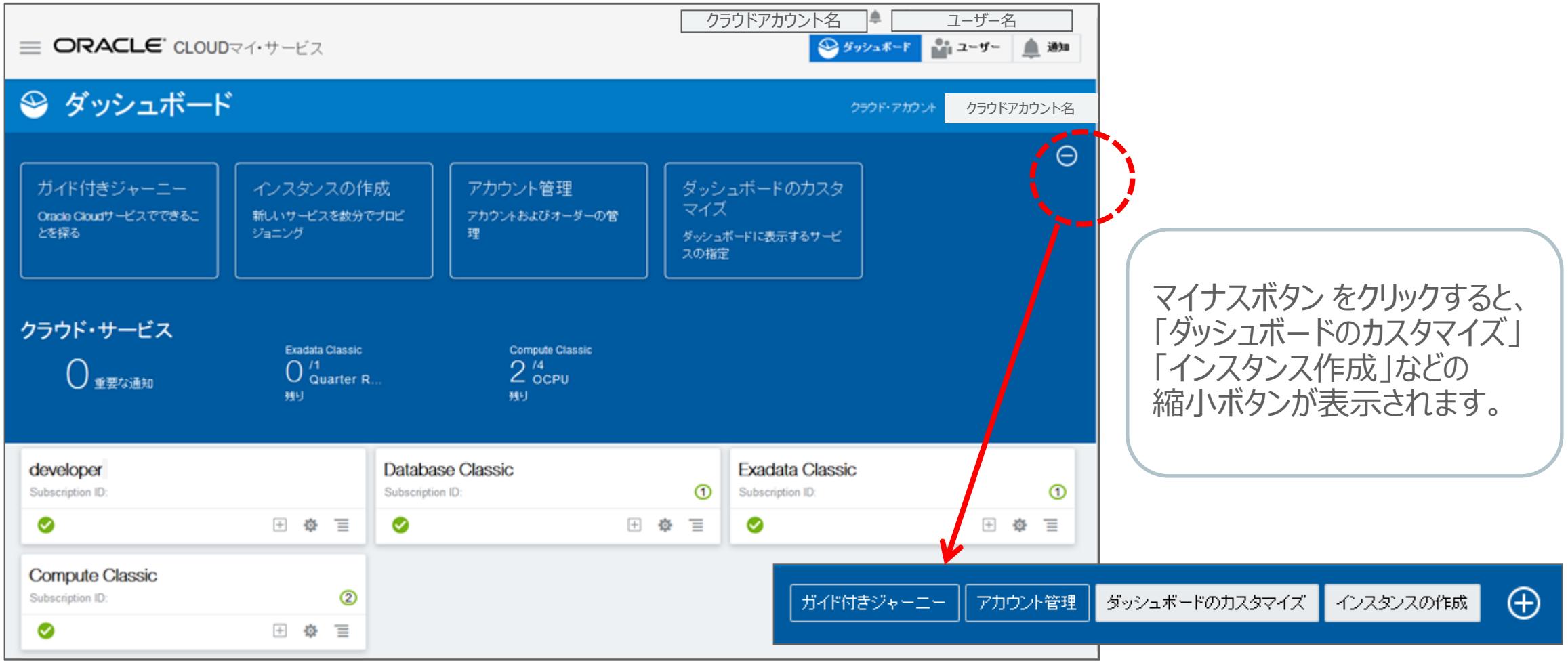
② “サインイン“をクリック

初回は、Welcomeメールに記載されている一時パスワードを入力ください。その場合、次ページで新しいパスワードの入力が求められます。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

マイ・サービスのダッシュボード

マイ・サービスへサインインすると、使用可能なサービス一覧が表示され、使用できます。



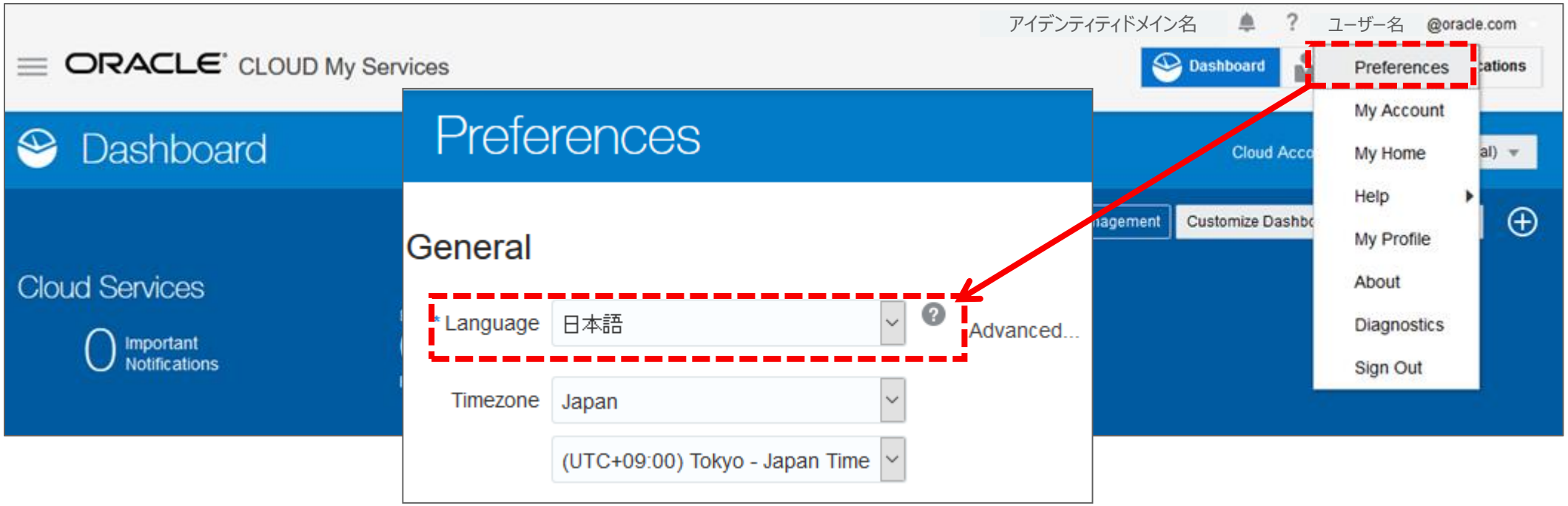
マイナスボタン をクリックすると、「ダッシュボードのカスタマイズ」「インスタンス作成」などの縮小ボタンが表示されます。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

オプション：日本語表示の設定

マイ・サービスから、使用する言語の設定を行うことができます。サービス開始時は英語になっています。

1. マイ・サービス画面の右上のユーザー名をクリックし、プルダウンで表示されたメニューから「Preferences」を選択
2. 「Preferred Language」から「日本語」を選択し、「OK」ボタンをクリック

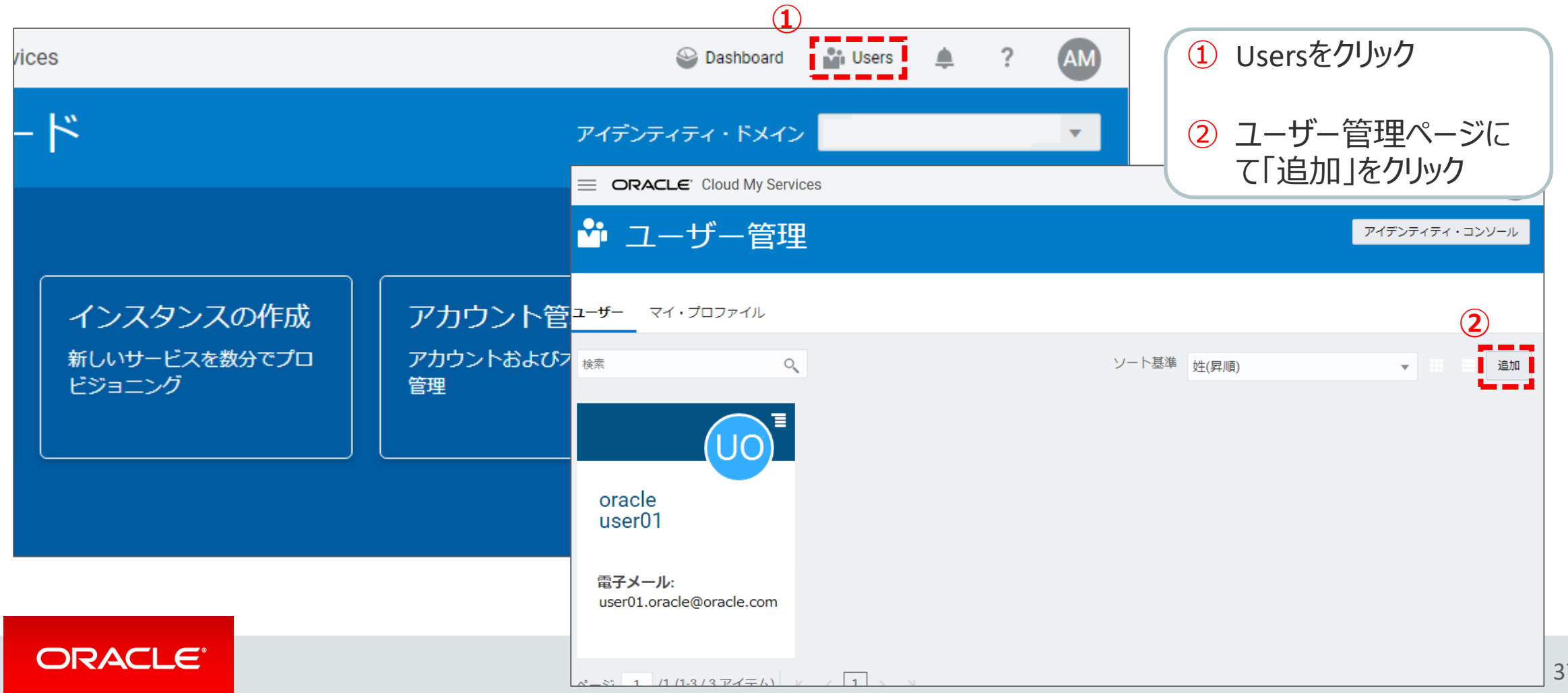


※ サービス管理者ではないユーザーはMy Homeの「My Profile」から表示されるAccount information画面にて「Timezone」と「Preferred Language」を設定します。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

ユーザー作成とロールの付与

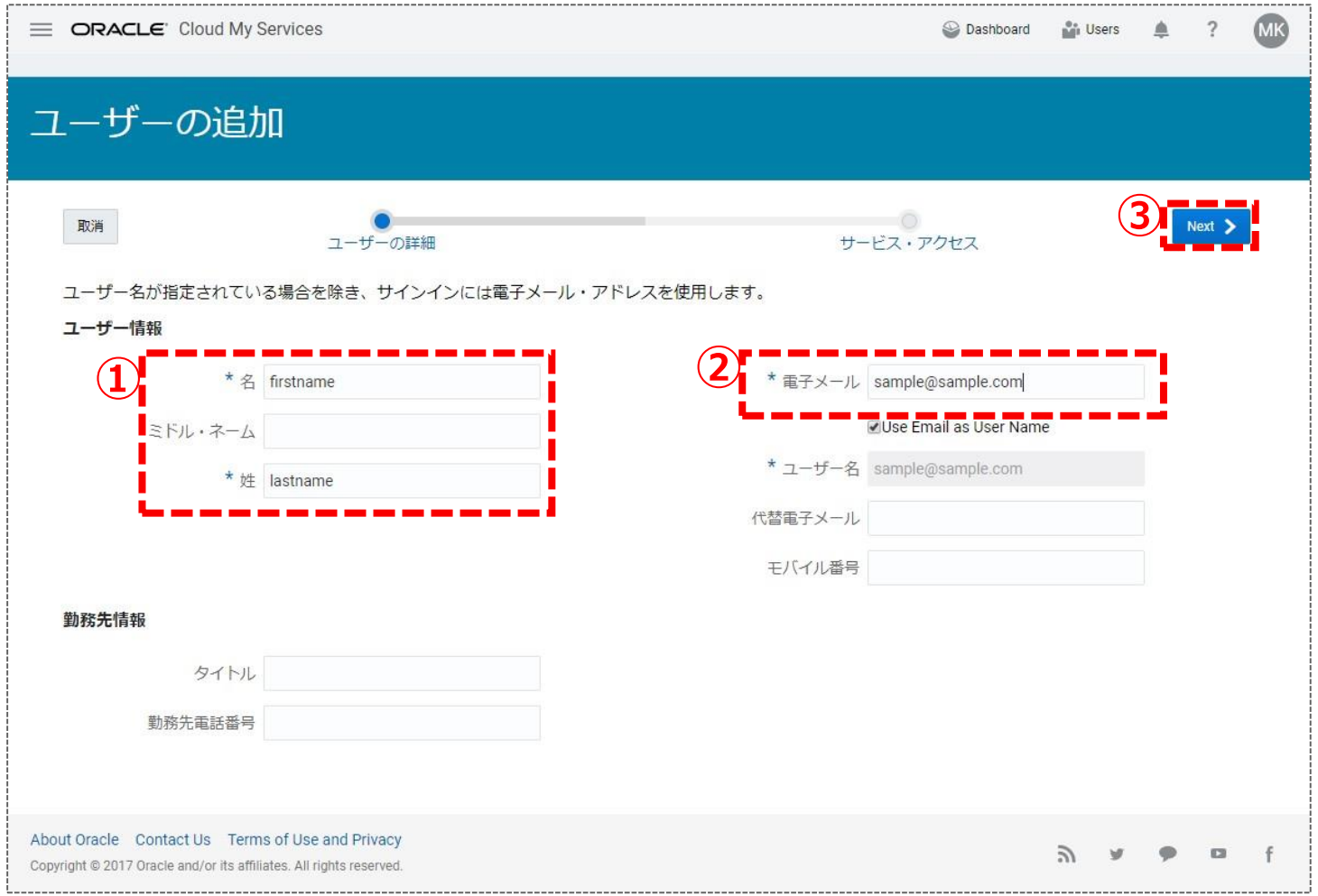
マイ・サービス画面からクラウド・アカウントで管理するユーザーの作成や管理が行うことができます。



① Usersをクリック

② ユーザー管理ページにて「追加」をクリック

クラウド・アカウント管理者の追加（１）



「ユーザーの追加」のページにて

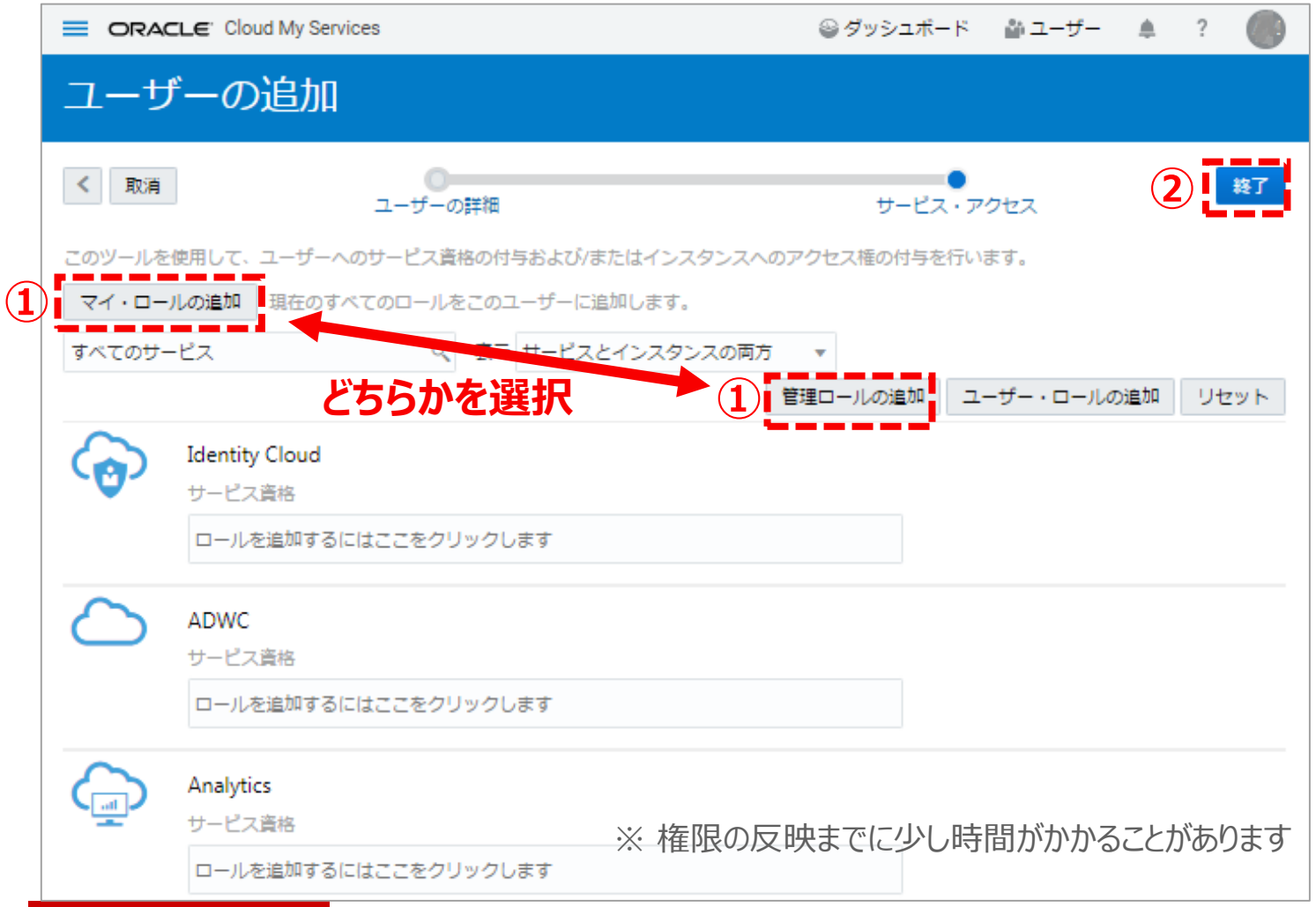
① 名・姓を入力

② 電子メールを入力

③ “Next”ボタンをクリック

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

クラウド・アカウント管理者の追加（２）



「ユーザーの追加」のページにて

① “マイ・ロールの追加” または
“管理ロールの追加” を選択
② “終了” ボタンをクリック

新規追加されたユーザーにメールが送付されます。

“管理ロールの追加”をクリックするとすべてのサービスへの管理権限や、ユーザーの追加などができる管理権限が付与されます
サービスごとに権限を管理したい場合は、それぞれのサービスのテキストボックスを選択すると必要な権限を選択できます

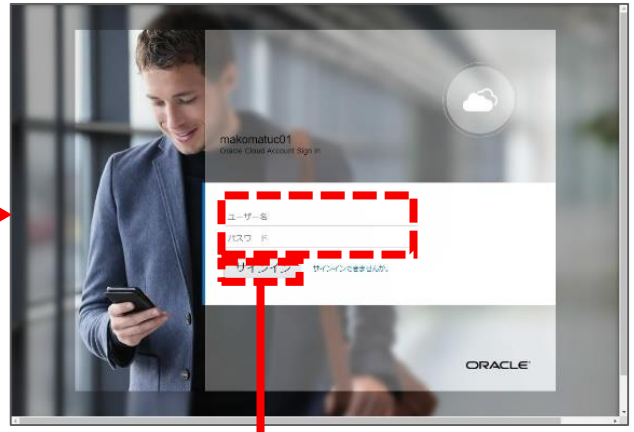
Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

新規ユーザーのログイン

ユーザー名
初期パスワード
クラウド・アカウント名
を確認

“Get Started with Oracle Cloud”
（クラウドサービスへのアクセス）をクリック

追加したユーザーに配信されるメール



ユーザー名と一時パスワードを入力
“サインイン”をクリック

新パスワードを設定し、”送信” をクリックするとログインします

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud PaaS & IaaS サービスポリシー

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud PaaS & IaaS サービスポリシー

Oracle Cloud PaaS & IaaSサービスのサービス内容を確認するには主に以下のドキュメントを参照します。

Cloud Service Agreement (CSA)

Oracle Cloudサービスのメインの契約
サービス全体にかかる契約条項を含む

サービスの使用、費用および税金、所有権及び制限、機密保持など

Data Processing Agreement(DPA)

Oracle Cloudサービスのデータ処理に関する契約

パーソナルデータの取り扱い、国境を超えたデータ移転、技術的対策及び組織的対策、監査権など

Service Description

各Cloudサービスのサービス仕様定義

サービス名称、製品番号、メトリック（課金の単位）、サービス概要、サービスコミットメントなど

Host & Delivery Policy

Oracle Cloudサービスの運用ポリシー

セキュリティポリシー、サービス継続性ポリシー、サービスレベルオブジェクティブポリシー、変更管理ポリシー、サポートポリシーなど

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud PaaS & IaaS サービスポリシー

前頁の文書は、Oracle Cloud Contractsページに掲載されています。
http://www.oracle.com/us/corporate/contracts/cloud-services/index.html

Cloud Service Agreement

Oracle Cloud Contractsセクション > Online Oracle Cloud Service Agreementセクション > Asia Pacificタブの Japan - Japanese（日本語版)/North Americaタブの United States（英語版)

Data Processing Agreement

Oracle Cloud Contractsセクション >Data Processing Agreementセクション > Data Processing Agreement - 072718 (英語版のみのご提供)

Service Description

Service Descriptionセクション> Oracle Tech Cloudセクション

> Oracle PaaS and IaaS Universal Credits - Service Descriptions (英語版のみのご提供)

> Oracle PaaS and IaaS Public Cloud Services—Service Descriptions (英語版のみのご提供)

Host and Delivery Policy

Hosting and Delivery Policiesセクション > Hosting and Delivery Policies セクションのView Local Language Versionsをクリック>Oracle Cloud Hosting and Delivery Policies – Japanese(日本語版)/ Oracle Cloud Hosting and Delivery Policies(英語版)

Hosting and Delivery Policiesセクション > PaaS/IaaS Cloud Services Pillar Document セクション>Oracle PaaS/IaaS Public Cloud Services Pillar Document (英語版のみのご提供)

※ 最新情報については英語版をご参照下さい。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloudのサービスレベルオブジェクティブ

Oracle Cloudサービスは各サービスに対してカテゴリ毎にサービスレベルオブジェクティブ(SLO) を設定しています。
以下は主なサービスのカテゴリと目標稼働率です。 ※詳細は「Oracle PaaS/IaaS Public Cloud Services Pillar Document」をご参照下さい。

カテゴリ	サービス名称		目標稼働率(/月)
カテゴリ1	・Oracle Database Cloud Service ・Oracle Java Cloud Service ・Oracle Application Container Cloud Service ・Oracle SOA Cloud Service	・Oracle API Manager Cloud Service ・Oracle Managed File Transfer Cloud Service ・Oracle Database Exadata Cloud Service ・Oracle GoldenGate Cloud Service 等	99.95%
カテゴリ2	・Oracle Database Backup Service	・Oracle Cloud Infrastructure Object Storage Classic	99.90%
カテゴリ3	・Oracle Messaging Cloud Service ・Oracle Database Cloud Service – Multitenant Edition ・Oracle Java Cloud Service – SaaS Extension ・Oracle Application Builder Cloud Service ・Oracle Business Intelligence Cloud Service ・Oracle Data Visualization Cloud Service	・Oracle Document Cloud Service ・Oracle Sites Cloud Service ・Oracle Integration Cloud Service ・Oracle Internet of Things Cloud Service ・Oracle CASB Cloud Service ・Oracle Autonomous Data Warehouse Cloud 等	99.95%
カテゴリ4	・Oracle Big Data Cloud Service – Starter Pack – 3 Nodes	・Oracle Big Data SQL Cloud Service	99.95%
カテゴリ5	・Oracle Cloud Infrastructure Compute Classic ・Oracle Cloud Infrastructure Container Service Classic ・Oracle Cloud at Customer	・Oracle Database Exadata Cloud at Customer ・Oracle Cloud Infrastructure Ravello Service 等	99.95%
カテゴリ6	・Oracle Cloud Infrastructure Network Classic		99.90%
カテゴリ7	・Oracle Cloud Infrastructure Compute	・ Oracle Cloud Infrastructure Block Volume 等	※

※ カテゴリ7に分類される Oracle Cloud Infrastructure の各サービスにつきましては、次ページにてご説明します。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

業界最高水準の包括的なSLAの提供

Oracle Cloud Infrastructure において、可用性だけでなく、管理・性能も含めた、エンタープライズ・レベルの SLAの提供を開始

可用性 SLA Coverage

Service/Resource	Measurement	Oracle Credit
Compute and Block Volumes	Region unavailability	< 99.95% (>21.56 mins/month) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/month) = 25% Service Credit
Object Storage and FastConnect	API error rate	< 99.9% (>43.8 mins/month) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/month) = 25% Service Credit

管理 SLA Coverage

Service/Resource	Measurement	Oracle Credit
Compute	API error rate	< 99.9% (>43.8 mins/month) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/month) = 25% Service Credit
Block Storage	API error rate	
Database	API error rate	

性能 SLA Coverage

Service/Resource	Measurement	Oracle Credit
NVMe drive	Disk IOPS	< 99.9% (>43.8 mins/month) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/month) = 25% Service Credit
Block Volume	Disk IOPS	
Network	Network performance	

※　詳しくはこちらをご参照ください。https://cloud.oracle.com/iaas/sla

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud からの通知メール (1/2)

ご利用のサービスに関する各種ご連絡は、「no-reply-cloud@oracle.com」または、「oraclecloudadmin_ww@oracle.com」よりメール通知されます。

主な通知内容

- サービス開始のご案内（Welcomeメール）
- ユーザー作成の通知
- ユーザーロール変更の通知
- パスワード変更・リセットのご案内
- リソース割り当て超過の通知（設定時）
- クレジット使用量の通知（設定時）
- メンテナンス・スケジュールのご案内
- メンテナンス終了通知
- 計画外停止通知
- 計画外停止からの復旧通知
- サービス終了通知

差出人: Oracle Cloud [no-reply-cloud@oracle.com] 送信日時: 2016/10/01 (土)
宛先: Ayami Misawa
CC:
件名: お知らせ: Oracle Cloudの次回の必須メンテナンス 株式会社 オラクルTech社 Oracle Database Backup Service、アイデンティティ・ドメイン A12345

ORACLE Cloud

こんにちは、オラクル太郎さん

Oracle Cloud環境の今後のメンテナンスについてお知らせいたします。メンテナンス期間中もサービスは使用可能です。ただし、サービスの一部の機能が一時的に使用できない可能性があります。環境が完全に使用可能になった時点で、電子メールによりお知らせいたします。

メンテナンスの詳細

日付:
2016/10/07

サービス: Oracle Database Backup Service
クラウド・サービス・カテゴリ: Oracle Database Public Cloud Services
顧客アカウント: 株式会社オラクルテック
クラウド・サービス・アカウント:
データ管轄: North America
アイデンティティ・ドメイン: A12345
サブスクリプションID: 987654321
サービス・インスタンスID: 508918334

メンテナンス期間は、ローカル・データ・センター時間で午後9時から午前5時までの間に発生します。

サポート詳細

CSI番号: 12345678
メッセージID: 53993141

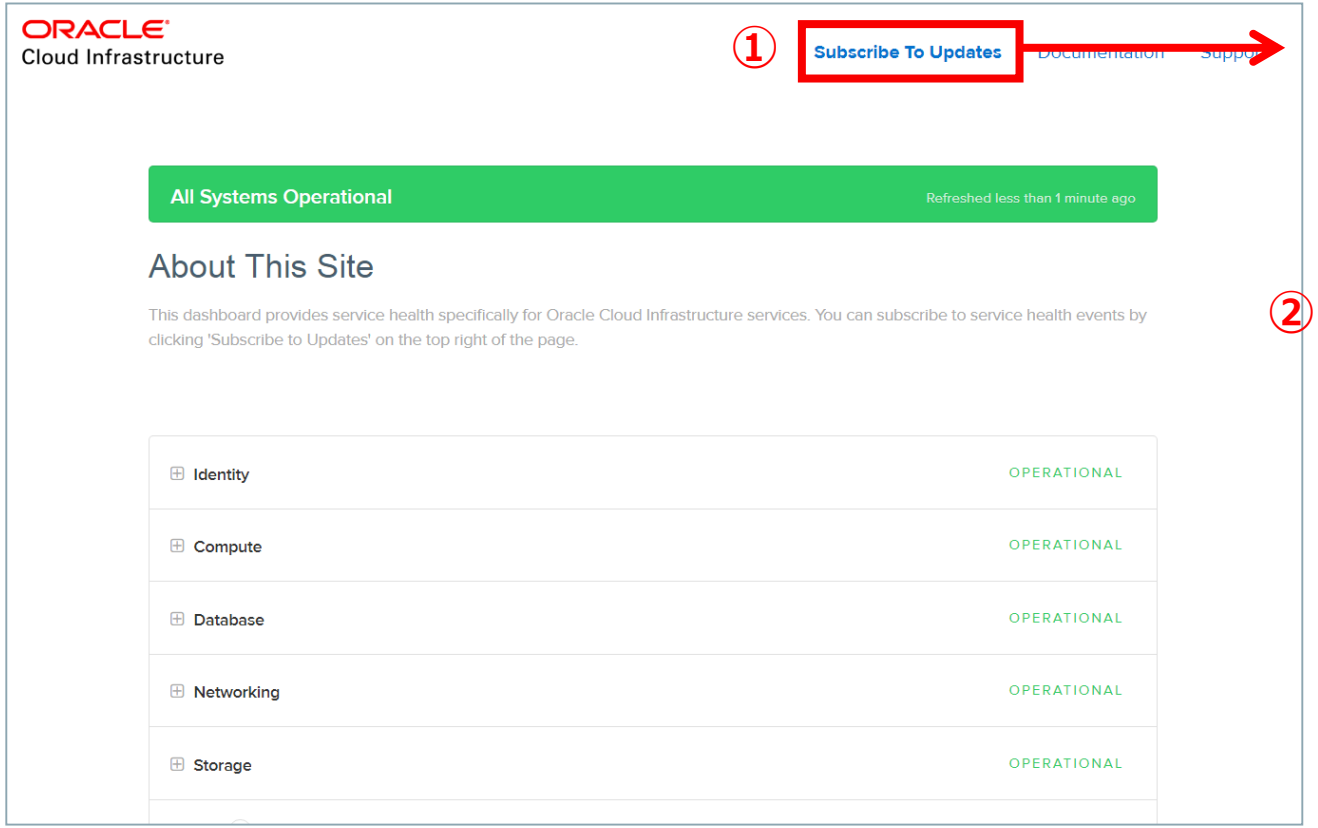
Oracleサポートにお問合せの際はカスタマ・サポートID (CSI)番号およびメッセージIDをお知らせください。

※ 通知プリファレンスの設定についてはマニュアルをご参照下さい。
デフォルトは「電子メールと通知タブ」です。「通知タブ」のみにも切り替え可能です。

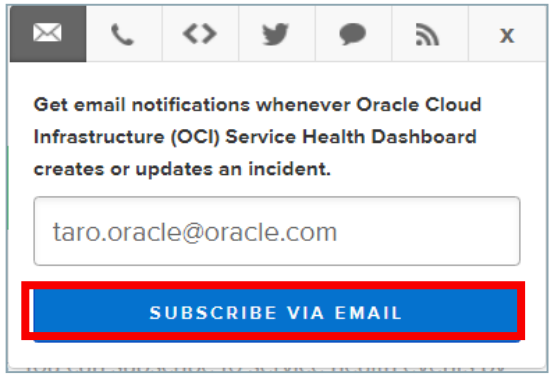
Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud からの通知メール (2/2)

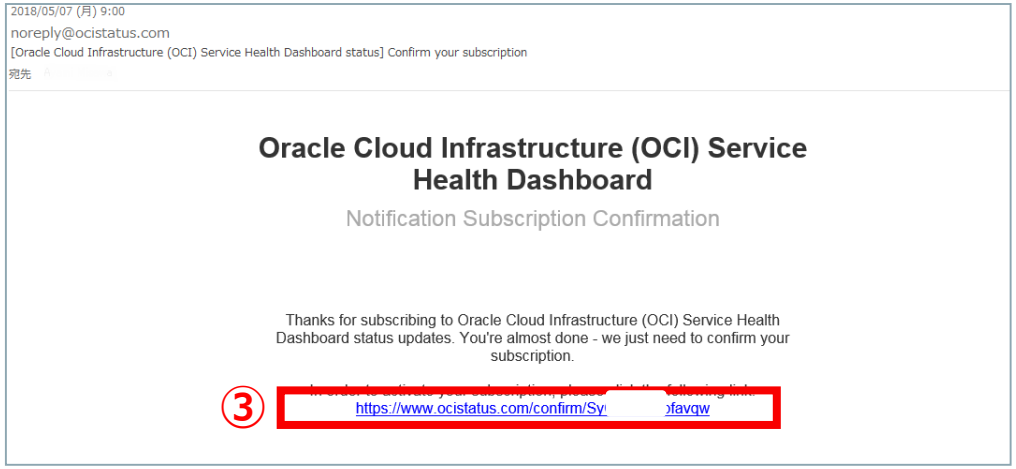
Oracle Cloud Infrastructure 各サービスのメンテナンスや計画停止に関するメールの一部は別途「noreply@ocistatus.com」 よりメール通知されます。以下のページより購読の申込みを行います。



https://www.ocistatus.com



① 「Subscribed To Update」をクリック
② メールアドレスを入力してからクリック。
③ 送信されてメールの下のリンクをクリック。



Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud PaaS & IaaS 定期メンテナンス (1/2)

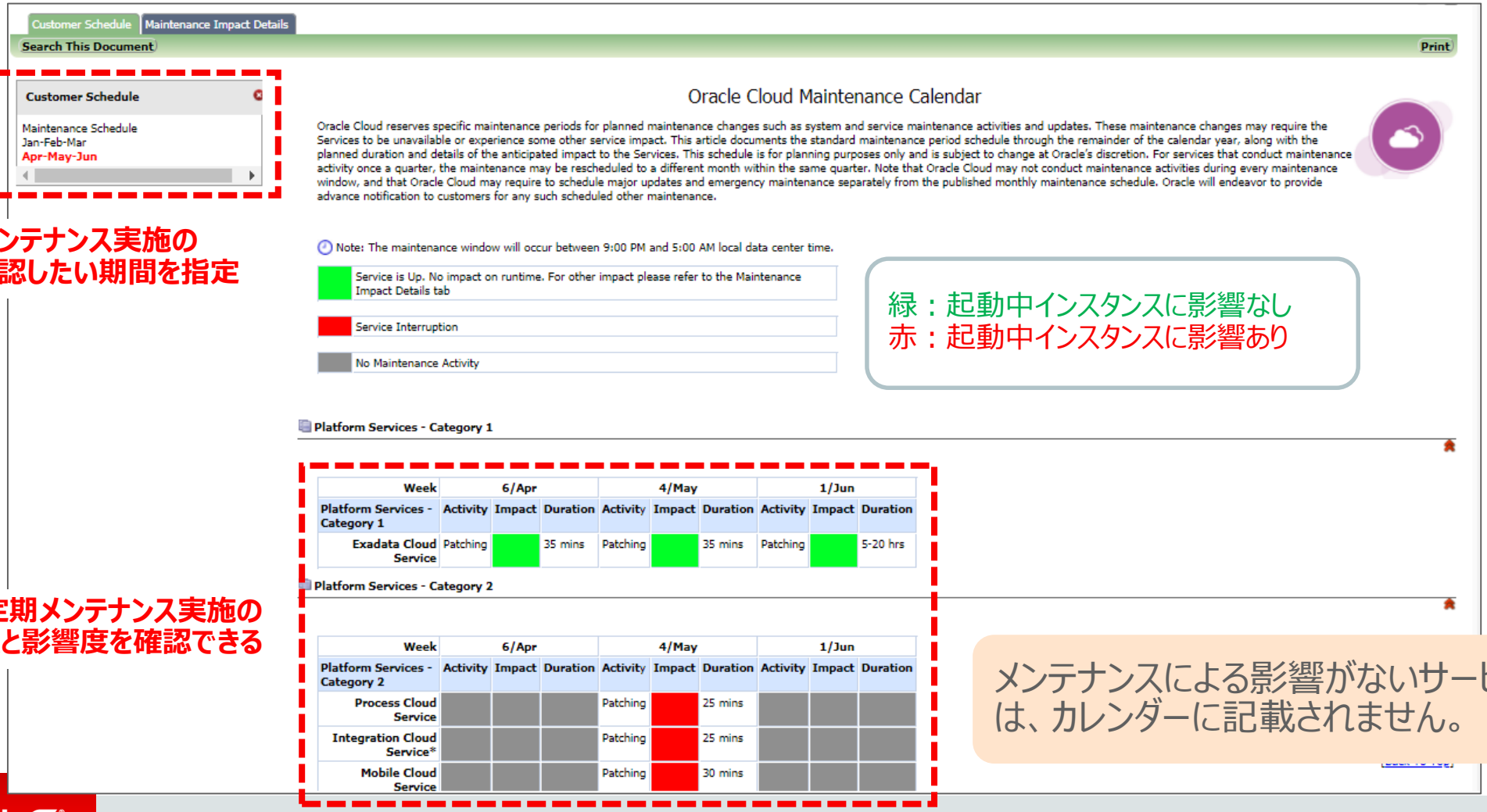
※詳細は My Oracle Support Knowledge の下記の情報をご確認下さい。
「Oracle Cloud Change Management Information (Doc ID 1681146.2)」

- ほとんどのPaaS/IaaSクラウドサービスは特定のメンテナンス時間を持たず、多くは定期メンテナンス枠を必要としません。
- 計画停止時間を必要とするサービスについてはこちらのリンク（メンテナンスカレンダー）を参照下さい。※次ページにてご紹介します。
- 定期メンテナンスを実施する場合は、1週間前までに通知メールを送信します。
- 開始時刻は、データセンター所在地の現地時間で、金曜日21時です。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud PaaS & IaaS 定期メンテナンス (2/2)

Technology Cloud Services (PaaS and OCI) Maintenance Schedule (Doc ID 2131053.2) - My Oracle Support Knowledge -



①定期メンテナンス実施の有無を確認したい期間を指定

②定期メンテナンス実施の有無と影響度を確認できる

緑：起動中インスタンスに影響なし
赤：起動中インスタンスに影響あり

メンテナンスによる影響がないサービスについては、カレンダーに記載されません。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

課金について押さえておきたいポイント

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud Platform の購入モデル

東日本DC

Metered

- プリペイド・クレジット方式の従量制課金
- プリペイド・クレジットを予め購入
- 購入したクレジットに紐付くサービスの利用が可能
- 利用したリソースの単価・量・時間に応じてクレジットを消費
- 有効期限（通常 1 年）が過ぎるとクレジットは失効

Non-metered

- 定額課金
- 購入時にリソース量と契約期間を指定。条件内のリソースを契約期間中に利用可能。
- 一時的なリソース追加や異なるシェイプの選択が可能 - “Bursting”

海外DC

Universal Credits – Pay As You Go（PAYG）

- プリペイド・クレジットなしの従量制課金
- 毎月ご利用分を後払い
- Universal Creditsの価格表に載っている全ての PaaS　および IaaSサービスの利用が可能
- 利用したリソースの単価 (定価)・分量・時間に応じて課金

Universal Credits – Monthly Flex

- 月額プリペイド・クレジット方式の従量制課金
- 月額プリペイド・クレジット額 x 利用月分（12ヶ月以上）　を予め購入
- PAYGと比較して低い単価設定
- Universal Creditsの価格表に載っている全ての PaaS および IaaSサービスの利用が可能
- 利用したリソースの単価・分量・時間に応じてクレジット消費
- その月に使い切らなかったクレジット残金は失効

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

課金について押さえておきたいポイント
- Metered

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Meteredサービス – プリペイド・クレジットとは

Meteredサービスをご利用の場合は、予めご購入頂いたクレジットを Service Rate Card（契約時に規定した単価）に従って消費していきます。

※Ordering Document(注文書）に Service Rate Card の記載がありますのでご確認下さい

Meteredサービスのクレジットには以下の種類があります。サービス毎に定められたクレジットから、使用量に応じて消費されます。

Database Cloud
Database Backup
Exadata Cloud
など

Big Data Preparation Cloud
など

Java Cloud
SOA Cloud
Visual Builder Cloud
Content and Experience Cloud など

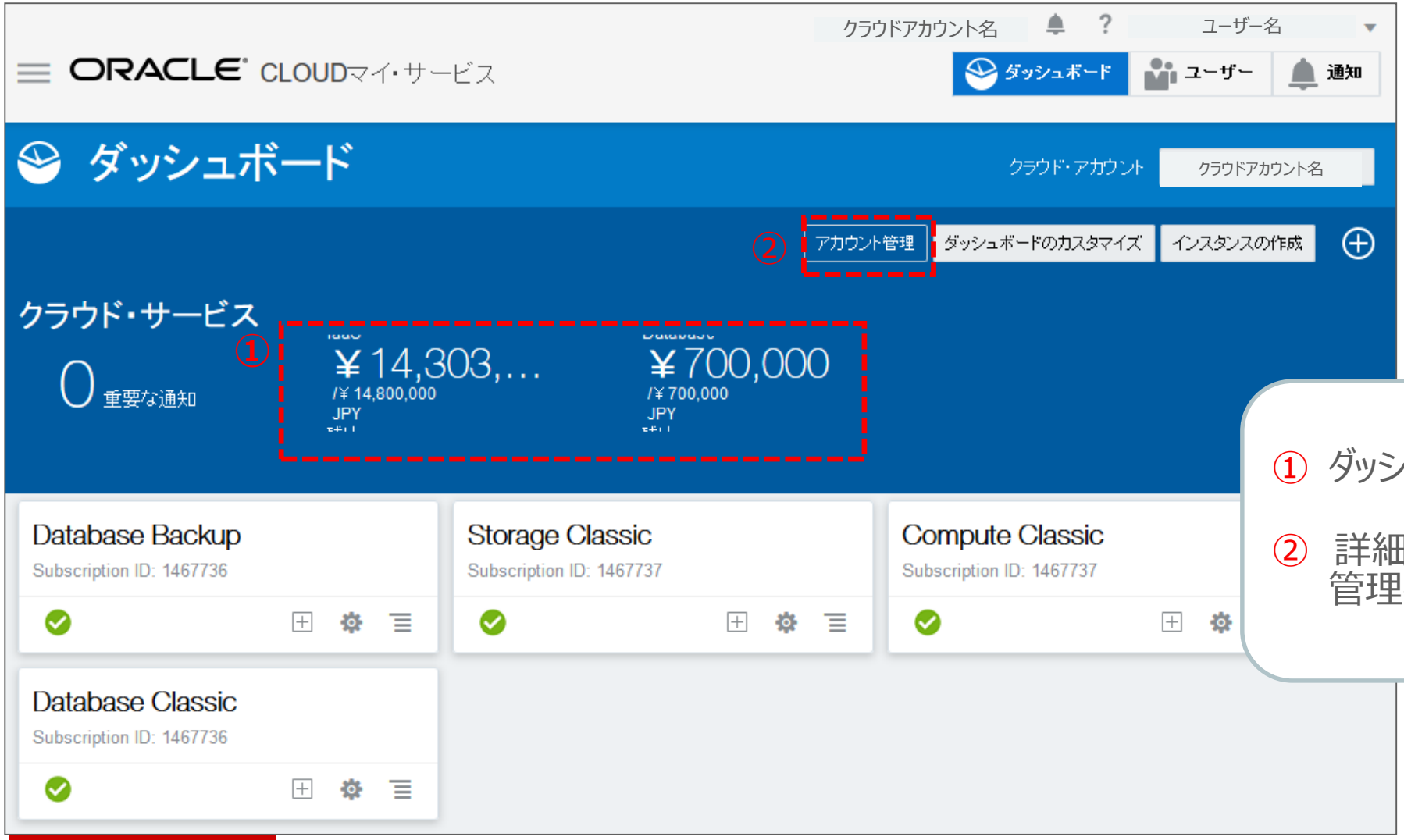
Analytics Cloud
など

OCI Compute
OCI Compute Classic
Object Storage Classic
など

※Service Rate Card上に記載がないサービスにつきましては、ご利用時の定価にてクレジットが消費されます。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Meteredサービス – 課金・クレジット残高の確認方法

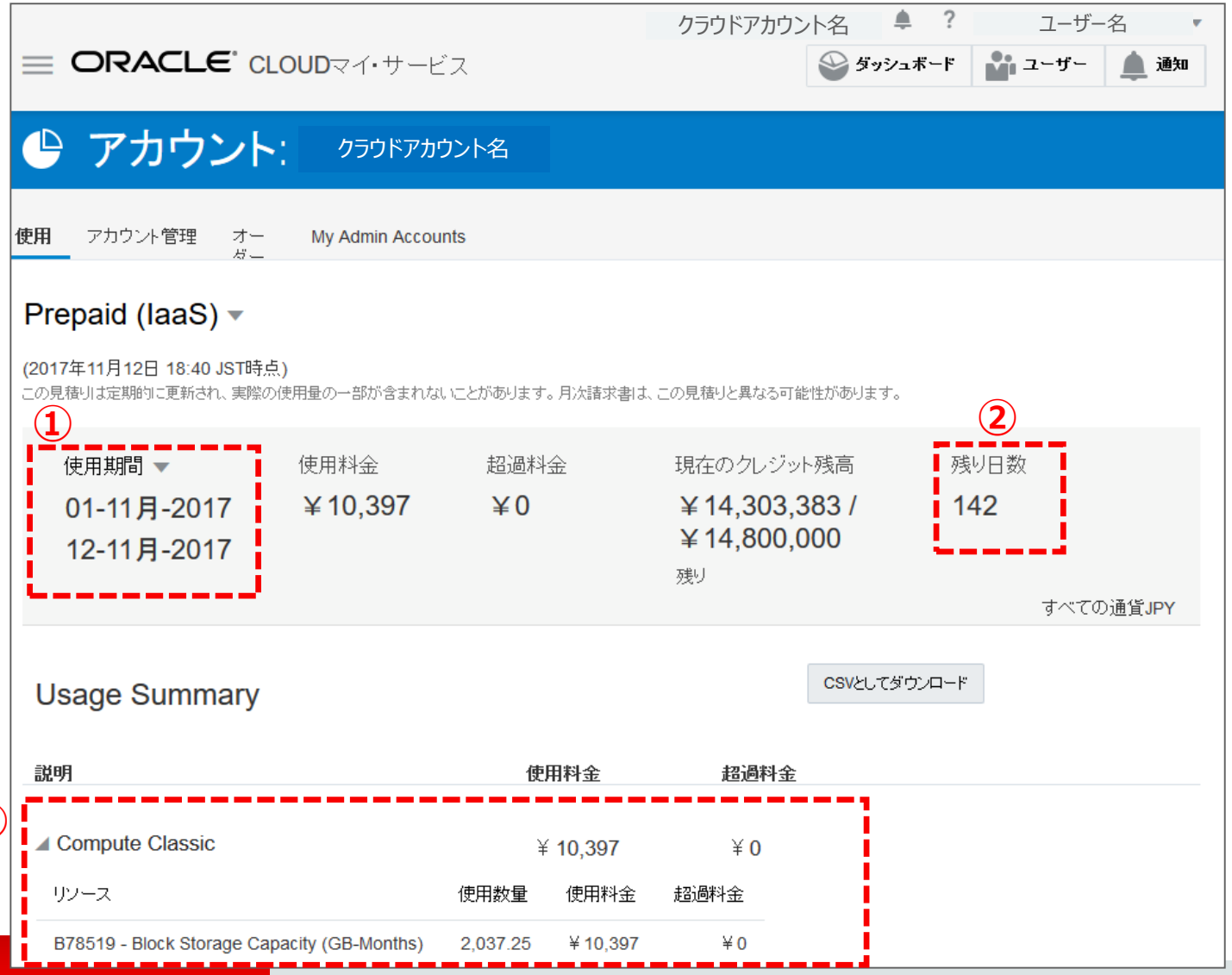


① ダッシュボードで残高確認

② 詳細を確認する場合はアカウント管理をクリック

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Meteredサービス – クレジット使用量・有効期間の確認方法



① 使用期間が表示されます。必要に応じて、表示期間を変更します。

② クレジットの有効期限が表示されます。

③ リソース名と使用数量、使用料金、超過料金が表示されます。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Meteredサービス – クレジットがなくなったらどうなるの？

ご購入済みクレジットを全て消費した場合、または、クレジットの有効期限が切れた場合は、以下2通りの方法で引き続きサービスのご利用が可能です。

・クレジットの追加購入（リプリニッシュ）

個別の条件設定が可能ですが、ご注文処理が必要になります。
リプリニッシュのご要望は、弊社担当営業までご連絡をお願いたします。

・クレジット追加購入なしでの継続 （Pay As You Go）

お客様の利用分を後払いでお支払いいただく”Pay As You Go”モデルでの課金となり、
ご利用時の定価(*)にて継続利用いただきます。
必要な手続きはありませんが、ご利用分の弊社からの請求書が毎月発送されます。

(*) ご注文時のService Rate Cardと異なる場合があります。

リプリニッシュご希望の方は、クレジットがなくなる前にご契約頂きますようお願いします。
Pay As You Goで発生した料金に対しては、事後にリプレニッシュ購入分のクレジットを補填することができません。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Meteredサービス – 消費のコントロールをしましょう！

クレジットを、計画的かつ効果的にご利用いただき、意図せぬ消費を防ぎましょう。以下ご参照下さい。

■ アラート・ルールを設定し、クレジット消費量に従ってメール送信や追加リソースの利用を制限します。
→次頁「アラート・ルールの設定」参照

■ 不要なインスタンスは停止することでクレジット消費を抑制します。

■ クレジットの消費を完全に止めたい場合は、全てのリソースを削除します。
- インスタンスの削除 – 各サービスのインスタンスを削除
- 追加したパブリックIPアドレスの削除
- 追加したストレージ・ボリュームを削除
- オブジェクト・ストレージの削除 – Storage Cloud の全コンテナを削除

その他、課金を伴うリソースを全て削除します。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Meteredサービス – アラート・ルールの設定

マイ・サービスの該当サービスのサービス名をクリック、もしくは、メニューから「詳細の表示」を選択します。「請求アラート」タブを選択し、「作成」ボタンをクリックします。

各サービス毎にアラート・ルールを設定することで、それぞれのクレジットの利用状況把握、また、クレジットの使用超過となる前にリソース削除などの適切な対応を行う事ができます。

アラートは以下の2つから選択可能

ソフト制限：設定値に達した場合にメール送信する

ハード制限：設定値に達した場合に、メール送信後、それ以上のリソース確保を禁止する
（マイ・サービスにはリソース超過が表示される）

値タイプは以下の2つより選択可能

絶対：Credit消費金額（金額を指定）

パーセンテージ：Credit使用率（%を指定)

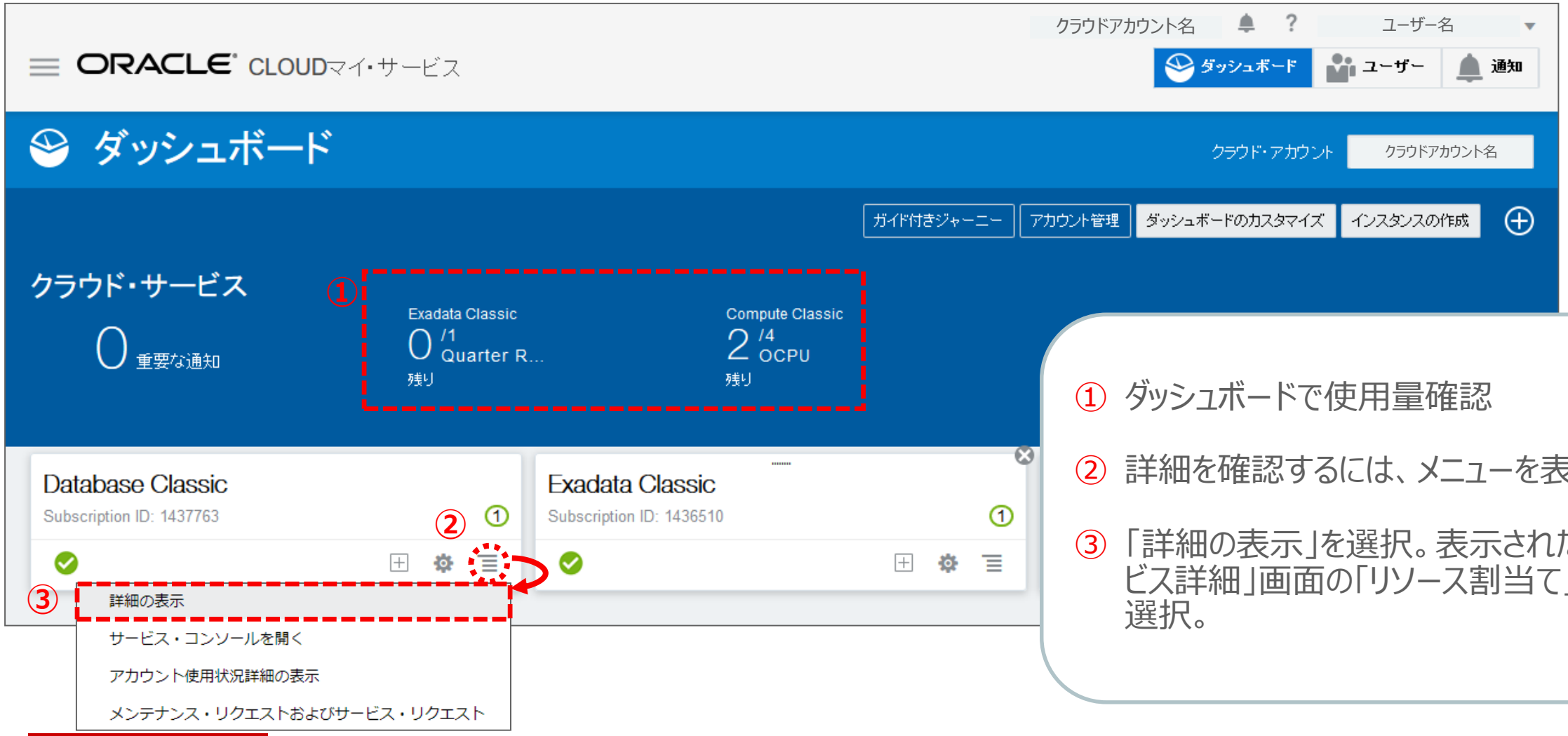
注意！ハード制限を設定した場合、追加リソース利用は制限されますが、既に確保されているリソースについてはそのまま保持されます。既存サービスの強制停止やデータ削除は行われません。**既存リソースに対する課金は継続して行われます**のでご注意ください。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

課金について押さえておきたいポイント
- Non-metered

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Non-meteredサービス – リソース残高の確認方法



① ダッシュボードで使用量確認

② 詳細を確認するには、メニューを表示

③ 「詳細の表示」を選択。表示された「サービス詳細」画面の「リソース割当て」タブを選択。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Non-meteredサービス – リソース残高の確認方法

① 利用可能なリソース量を確認

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Non-meteredサービス – Burstingとは？

- Non-metered サービスでは、契約しているリソース量の最大2倍まで、追加利用が可能です。

  例：Database Cloud Service Standard Edition を **2OCPU** ご契約の場合、
  同 Edition を合計 **4OCPU** まで 追加利用可能

  例：Storage Cloud Service　を **1T** バイトご契約の場合、**2T** バイトまで追加ご利用可能

- 追加で使用した分は、Pay As You Goモデルでの課金となります。
  （１時間単位で課金され、月次でのご請求）

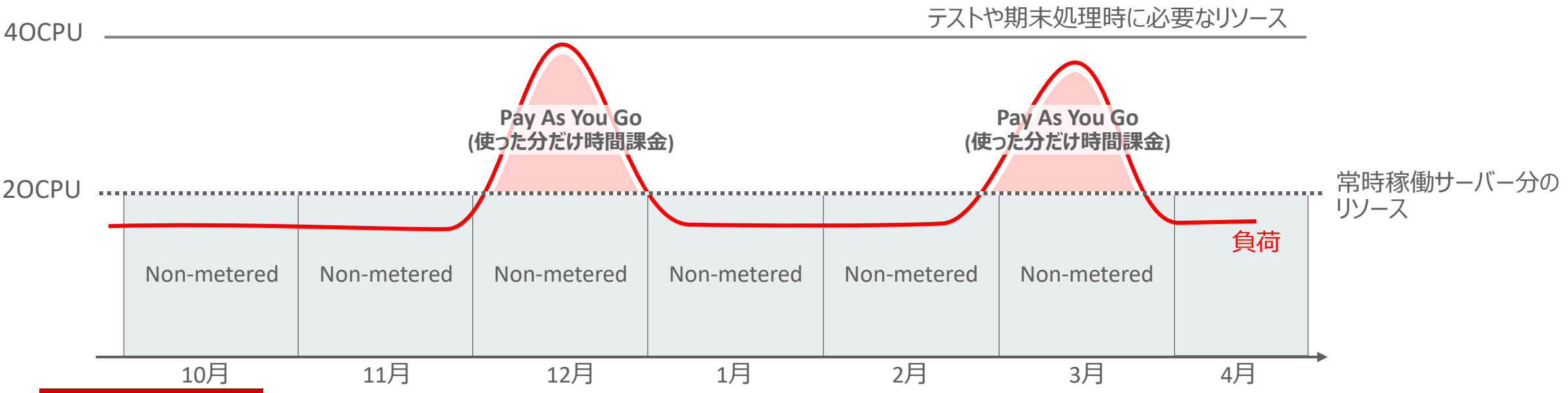
- 以下のサービスでBurstingが使用可能となっています。

✓ Compute Cloud Service
✓ Database Cloud Service
✓ Java Cloud Service
✓ Storage Cloud Service
✓ Database Backup Service

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Non-meteredサービス – Burstingの使いどころ

- Burstingの使いどころ（例）「短期間の負荷増大への対応」
  - 業務などで常に起動しているリソース分だけNon-meteredで購入し、
    テストや期末処理などで一時的に使用するリソースはBursting(Pay As You Goモデルの課金)で使用
  - DBサーバーなど常に稼働してリソース変動が少ないサーバー分はNon-meteredで購入し、
    変動が激しいWeb/APサーバーについては、最低限をNon-meteredで購入し、**必要に応じてBurstingを使用**



Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Non-meteredサービス – Burstingの考慮点・注意点

Burstingはデフォルトで使用可能となっています

Burstingを発生させないようにしたい場合

- サポートにサービスリクエストを上げて、Burstingを使用しない設定に変更します。
  または
- Order Document(注文書)の購入リソースを事前に確認し、購入リソースの範囲内で利用します
- アラート・ルールのハード制限を設定し、上限を超えてしまった場合に、それ以上のリソース使用を制限します

ハード制限を設定しても、制限を超えてインスタンスを作成することは可能です
例えば、ハード制限まで残り２OCPUの時、４OCPUのインスタンス作成は可能です
しかし、制限を超えた以降はインスタンスの作成は制限されます

Burstingリソースの使用終了時

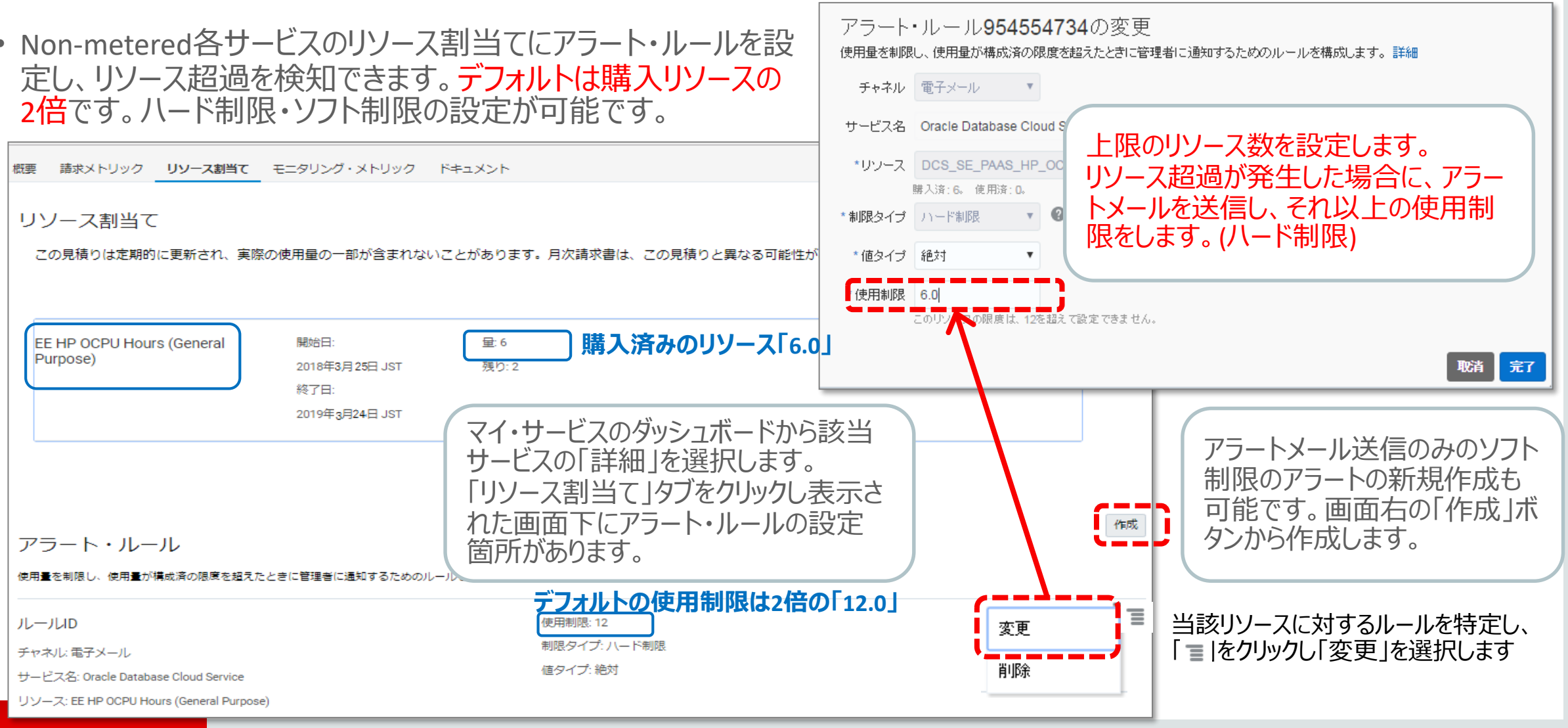
- Non-meteredの契約数を超過して使用しているサービスを停止または削除します
- ストレージが超過している場合は、必要に応じてストレージを削除します
  (サービスを停止したのみでは、ストレージは削除されず課金され続けます)

※詳細はマニュアルに記載があります（リンク）

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Non-meteredサービス – アラート・ルールの設定

- Non-metered各サービスのリソース割当てにアラート・ルールを設定し、リソース超過を検知できます。デフォルトは購入リソースの2倍です。ハード制限・ソフト制限の設定が可能です。



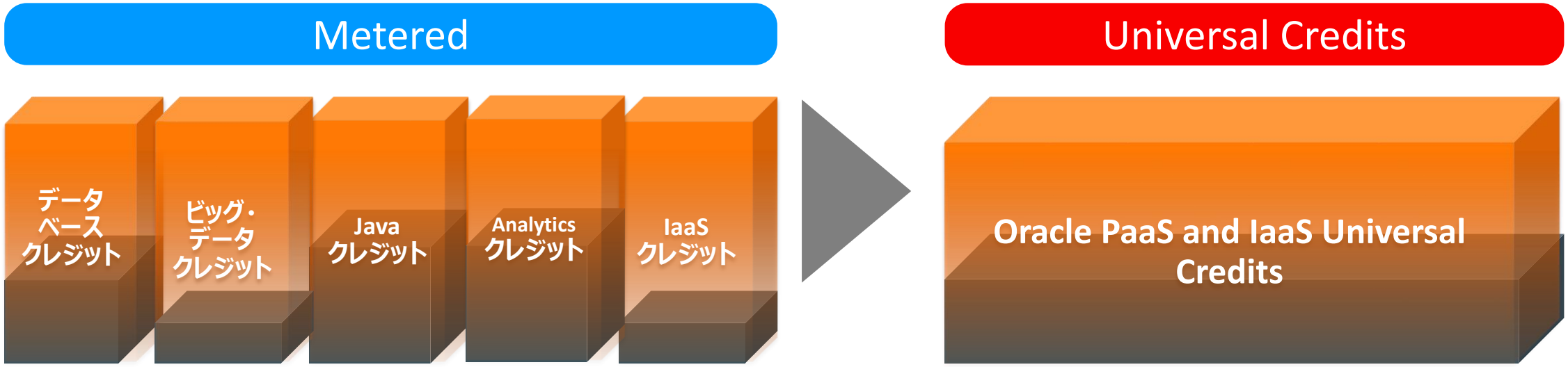
Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

課金について押さえておきたいポイント
- Universal Credits: Pay As You Go & Monthly Flex

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Universal Credits とは？

- 単一のクレジット・プールで Oracle Cloud Platform の全サービスをご利用できます
  - １つのご契約で現在および将来のPaaSおよびIaaSサービスをご利用頂けます。
    - **Pay As You Go**：ご利用分の請求書が翌月発送されます。
    - **Monthly Flex**：予めご購入頂いた月額プリペイド・クレジットから使用量に基づいて消費されます。

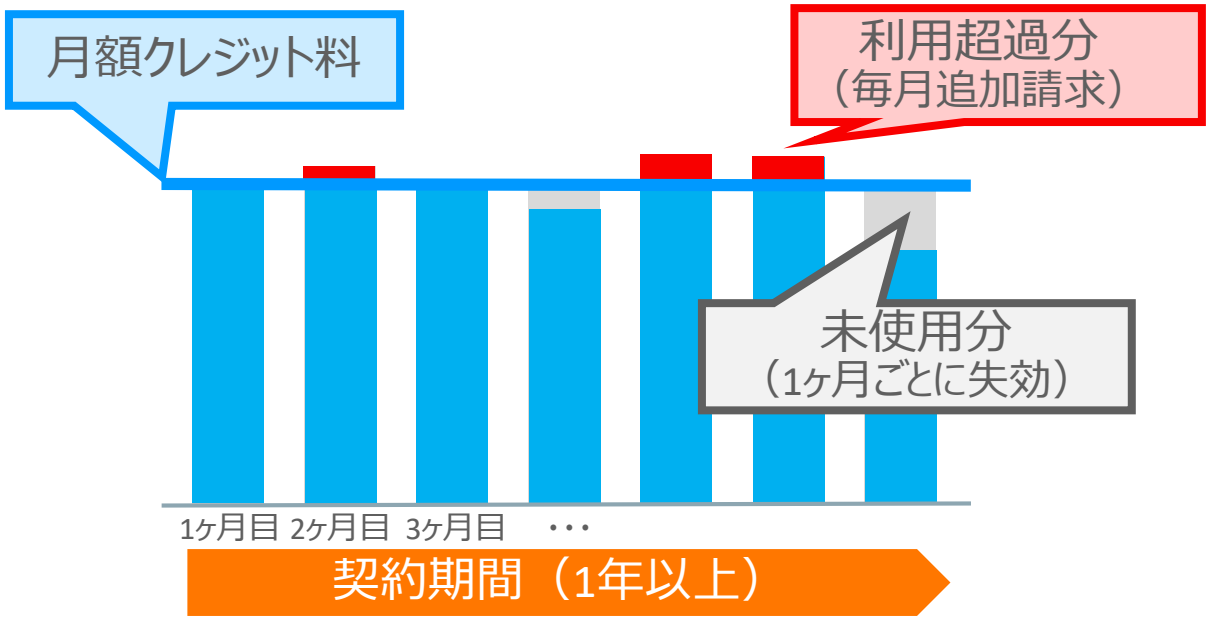


Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Universal Credits – Monthly Flexの利用イメージ

- プリペイド・クレジットから、Service Rate Card（契約時に規定した単価）従い消費していきます。
- 月額クレジット料を超えた分は後払いで追加請求されます。月額クレジット未使用分は1ヶ月毎に失効します。
- クレジットの追加購入が可能です。契約期間終了時には、更新することが可能です。

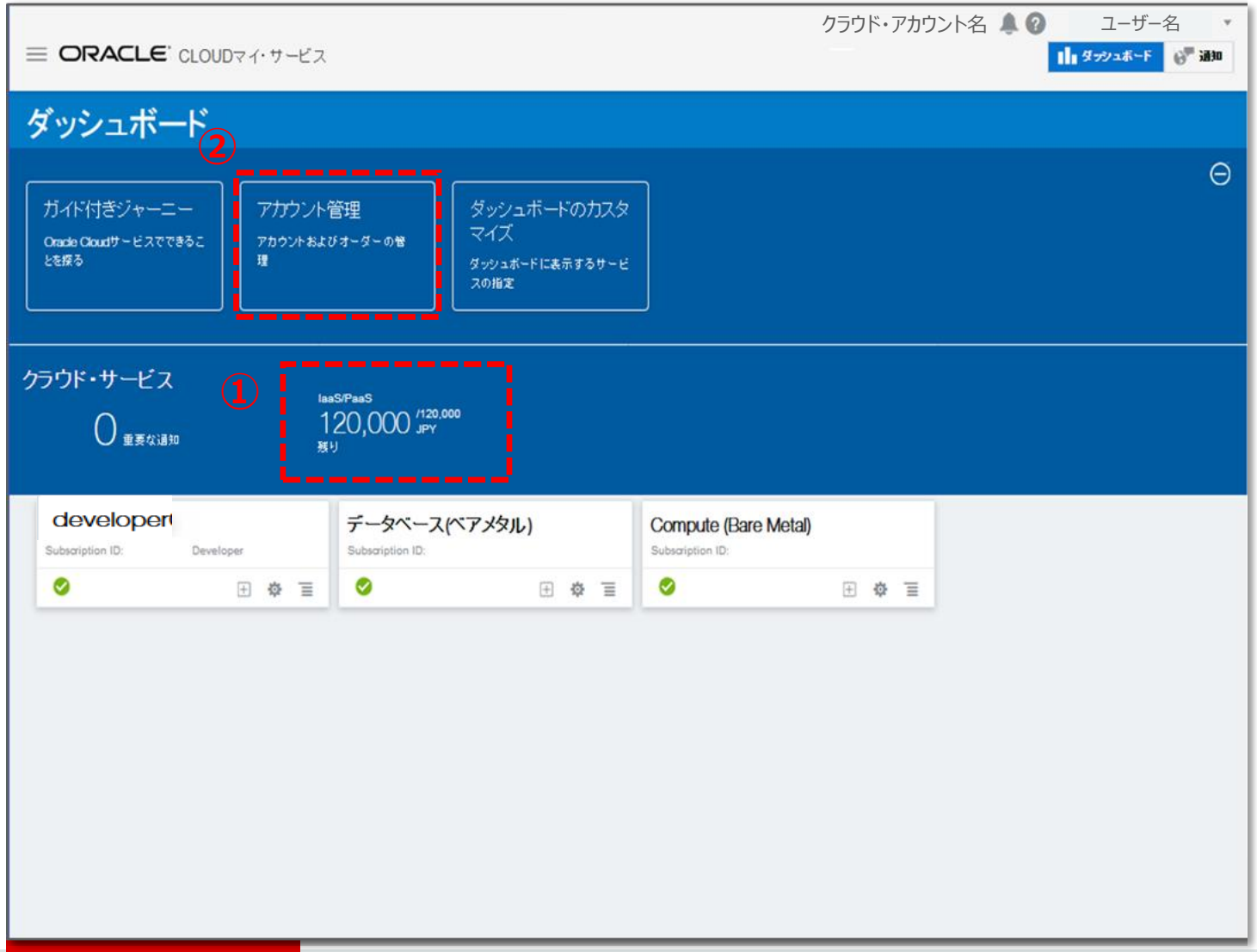
毎月の利用イメージ



月単位でクレジット額を目安にサービスを利用

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Universal Credits – 課金・クレジット残高の確認方法

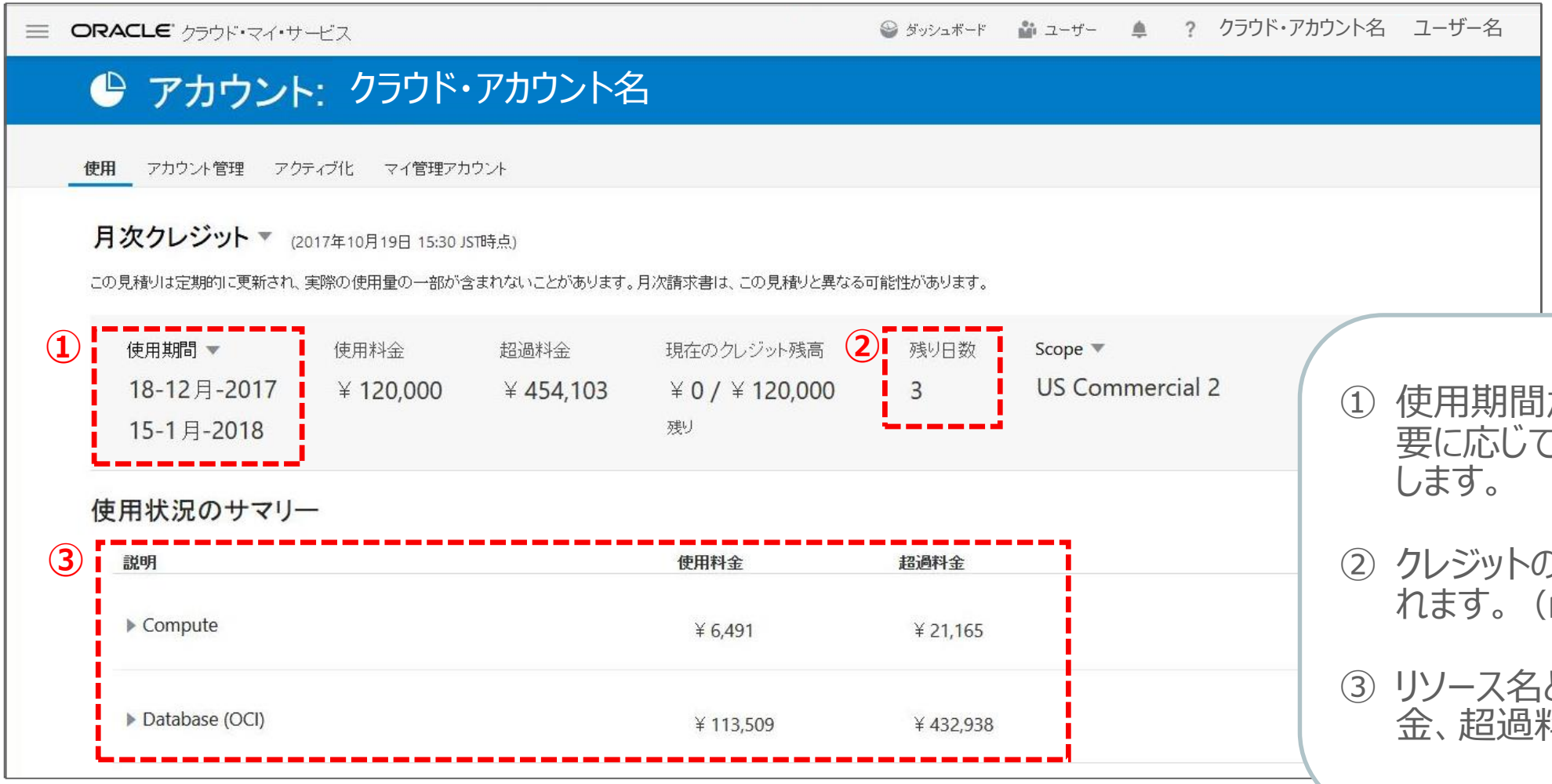


① ダッシュボードで残高確認

② 詳細を確認する場合は残高をクリック

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Universal Credits – クレジット使用量・有効期間の確認方法



① 使用期間が表示されます。必要に応じて、表示期間を変更します。

② クレジットの有効期限が表示されます。（Monthly Flexのみ）

③ リソース名と使用数量、使用料金、超過料金が表示されます。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Universal Credits – 消費のコントロールをしましょう！

クレジットを、計画的かつ効果的にご利用いただき、意図せぬ消費を防ぎましょう。以下ご参照下さい。

■ アラート・ルールを設定し、クレジット消費量に従ってメール送信や追加リソースの利用を制限します。
→次頁「アラート・ルールの設定」参照

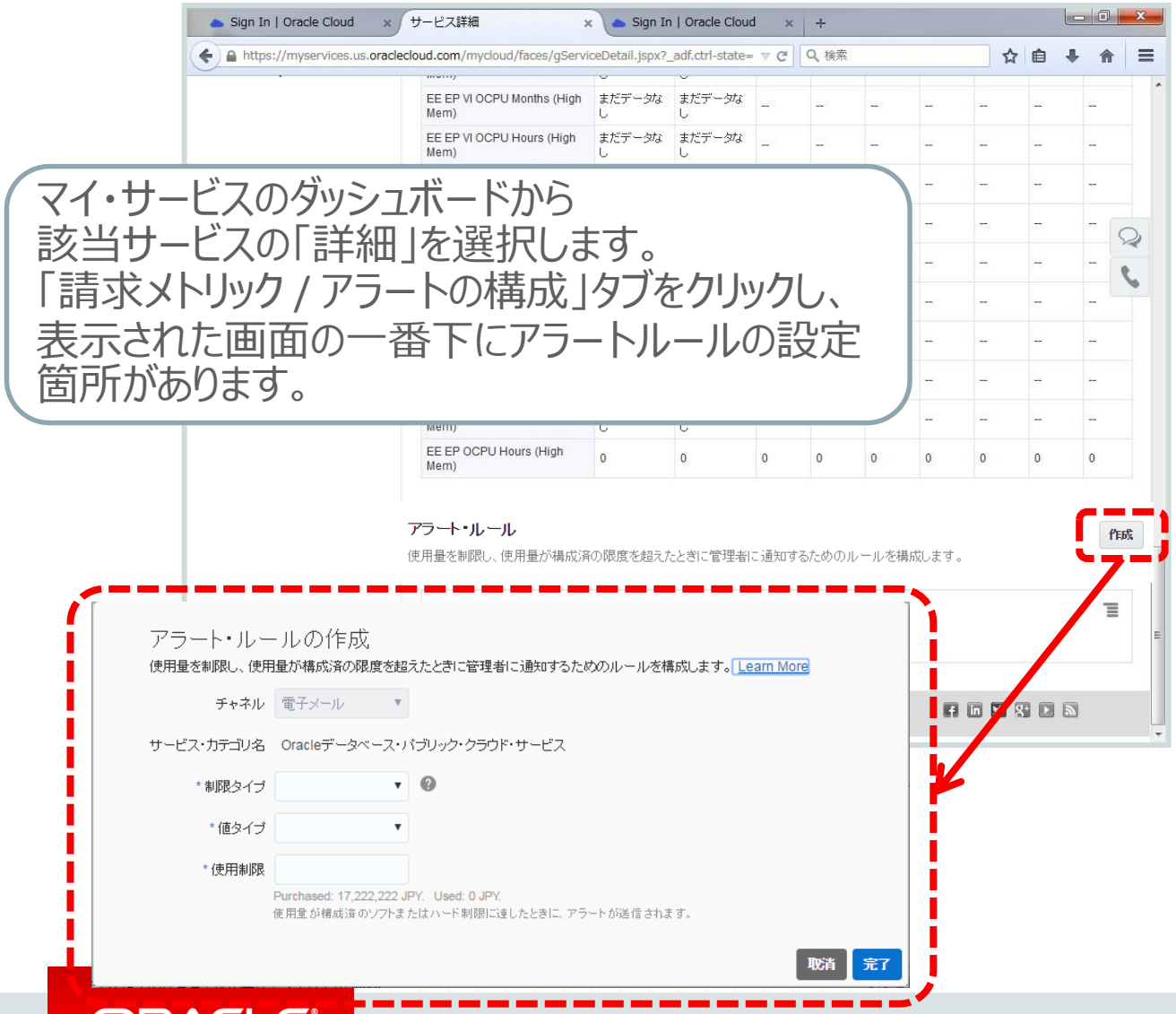
■ 不要なインスタンスは停止することでクレジット消費を抑制します。

■ クレジットの消費を完全に止めたい場合は、全てのリソースを削除します。
- インスタンスの削除 – 各サービスのインスタンスを削除
- 追加したパブリックIPアドレスの削除
- 追加したストレージ・ボリュームを削除
- オブジェクト・ストレージの削除 – Storage Cloud の全コンテナを削除

その他、課金を伴うリソースを全て削除します。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Universal Credits – アラート・ルールの設定



マイ・サービスのダッシュボードから
該当サービスの「詳細」を選択します。
「請求メトリック / アラートの構成」タブをクリックし、
表示された画面の一番下にアラートルールの設定箇所があります。

アラート・ルールを設定することでクレジットの利用状況把握、また、クレジットの使用超過となる前にリソース削除などの適切な対応を行う事ができます。

アラートは以下の2つから選択可能

- **ソフト制限**：設定値に達した場合にメール送信する
- **ハード制限**：設定値に達した場合に、メール送信後、それ以上のリソース確保を禁止する（マイ・サービスにはリソース超過が表示さる）

値タイプは以下の2つより選択可能

- **絶対**：クレジット消費金額（金額を指定）
- **パーセンテージ**：クレジット使用率（%を指定）– Monthly Flex のみ

注意！ハード制限を設定した場合、追加リソース利用は制限されますが、既に確保されているリソースについてはそのまま保持されます。既存サービスの強制停止やデータ削除は行われません。**既存リソースに対する課金は継続して行われます**のでご注意ください。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

サービスの終了

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

サービスの終了

- Oracle Cloud サービスの終了は、契約の形態によって以下の通りとなります。

契約の形態	Universal Credit - PAYG	Metered Universal Credit - Monthly Flex	Non-metered
サービスの終了	サービスの終了なし	契約終了日にクレジットが失効し、PAYG課金に自動的に切り替わる。サービスの終了はなし。	契約終了に伴いサービスが終了
環境の削除	環境は自動的に削除されない 環境を削除する場合は、担当の営業、またはCSMに連絡	環境は自動的に削除されない 環境を削除する場合は、担当の営業、またはCSMに連絡	サービス終了後に、自動的に環境が削除される

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

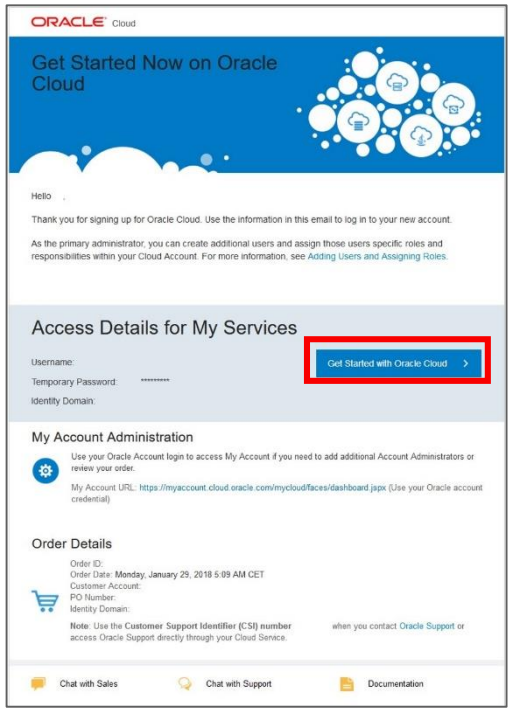
よくあるお問い合わせ

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Welcomeメールから マイ・サービスへのサインイン

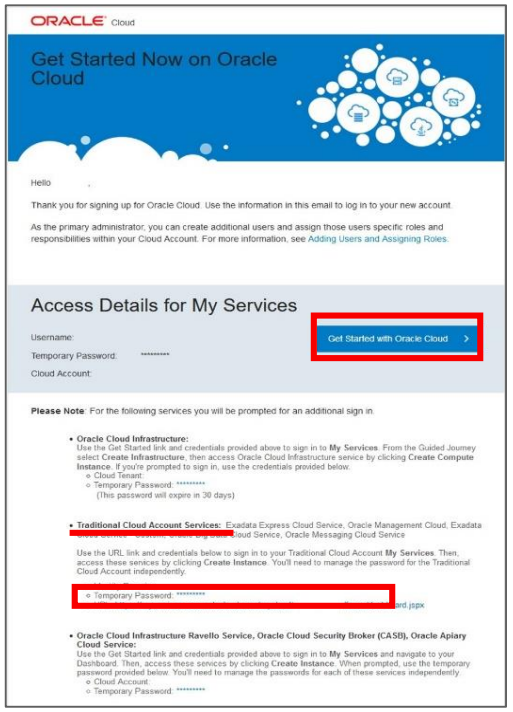
- Welcomeメールに記載されているURLからサインインすることが可能です
- 契約の形態によってURLの記載箇所が異なるのでご注意ください

東日本DCの場合：



「従来のクラウド・アカウント」

海外DCの場合：



「Identity Cloud Serviceを使用したクラウド・アカウント」

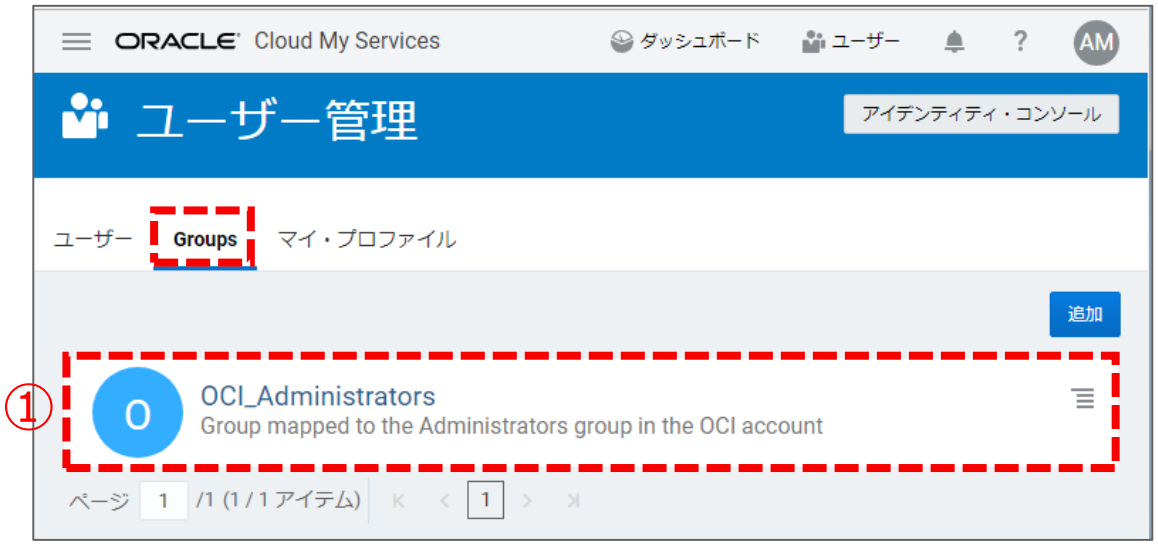
「従来のクラウド・アカウント」

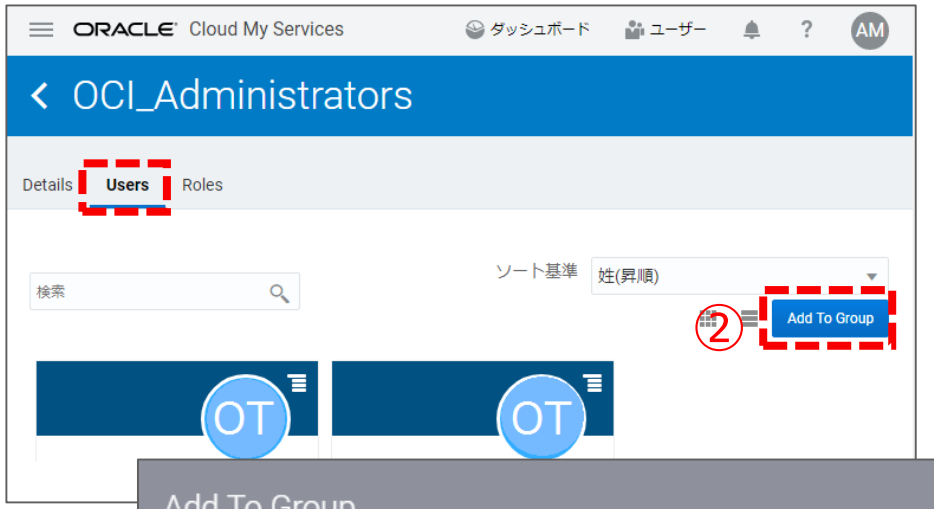
ご利用いただくサービスによってサインイン方法が異なります

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 利用ユーザーの登録

OCIを利用するユーザーについては、ユーザー作成後「OCI_Administrators」グループに追加する必要があります。





① ユーザー管理画面にて、Groups タブに表示されているOCI_Administratorsグループをクリック
② OCI_Administrators画面にて、Userタブの「Add To Group」をクリック
③ ④ グループに追加するユーザーをチェックして、追加をクリック

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

契約していない「Developer Cloud Service」に関する通知

東日本データセンターでご契約の場合、「Developer Cloud Service」「Developer Standard Service」についての通知（Welcomeメール）が、別途届く場合があります。

【お客様の対応】

- Oracle Developer Cloud Service （以下 “DevCS”） を利用しない場合は、対応不要です。

【注意点】

- 2つのアカウント（東日本データセンター、および DevCS を提供するデータ・リージョン）を保有することになります。ログイン先を間違えないように、ご注意下さい。
  - （例）DevCS の提供データ・リージョンにログインすると、東日本データセンター契約のサービスはダッシュボードに表示されない、など。

【背景】

- DevCS は、一部のクラウド・サービスをご契約の場合に、無料で付帯されるサービスです。
- 東日本データセンターは DevCS を提供できません。代替として別のデータ・リージョンに自動的にアカウントが作成され、そこから DevCS が提供されます。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

データ・リージョンの追加

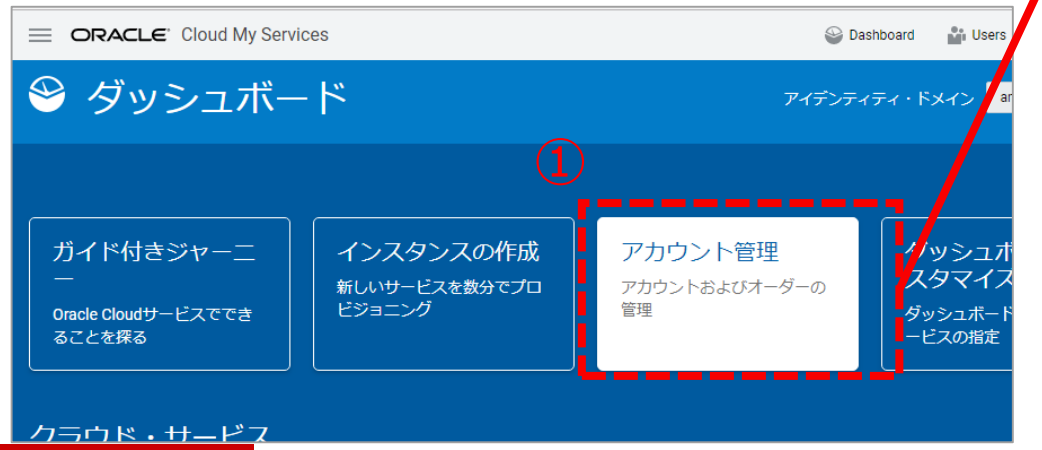
アクティベーション実施後にも、マイ・サービスコンソールから 利用するデータ・リージョンを追加頂くことができます。

ダッシュボード→「アカウント管理」→「アカウント管理タブ」でデフォルト以外のデータ・リージョンを追加します。

暫くすると新たに追加されたデータ・リージョンのアカウントに対するWelcomeメールが送付されます。

データ・リージョンの追加作業は、初期管理ユーザー（アクティベーション時に指定した管理者）のみ可能となります。

ユーザー登録は、データ・リージョン毎に別々に行う必要があります。



Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

IDCSを使用したクラウド・アカウント

従来のクラウド・アカウント

クラウド・アカウントの切り替え

ダッシュボード右側のタブにて、別のデータ・リージョンのアカウントや、従来のアカウントへの切り替えが可能です。

切り替え先のクラウド・アカウントにてサービスコンソールにログインするタイミングで、サインインを求められます。

各クラウド・アカウントには、WelcomeメールのURLやcloud.comからのサイン画面からログインも可能です。

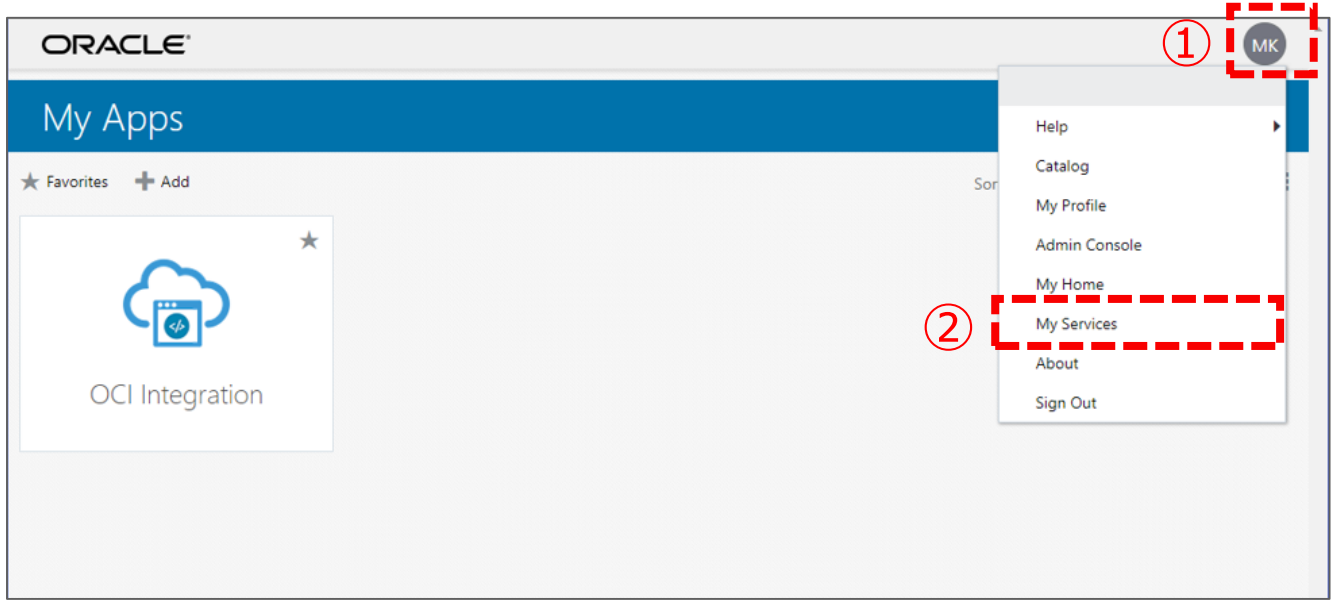
Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

My Apps (自分のアプリケーション） 画面の表示

ユーザーがパスワードをリセットした後、また、サインアウトした画面により、ログイン後にMy Apps画面が表示される場合があります。この場合は、

① 表示された「My Apps」画面右上のメニューをクリックします。

② メニューから「My Services」（もしくはMy Home) を選択することでダッシュボードに移動します。



Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud Platform 参考資料ご案内

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud Platform – 各種参考資料 (1)

- **Oracle Help Center（オンラインマニュアル）：** ※ 最新情報については英語版をご確認ください。
  - Oracle Cloud サービスのドキュメント（全体）

    http://docs.oracle.com/cd/E83857_01/index.html （日本語）

    http://docs.oracle.com/en/cloud/get-started/index.html（英語）
  - Platform as a Service (PaaS)のドキュメント

    https://docs.oracle.com/cd/E83857_01/paas/index.html （日本語）

    https://docs.oracle.com/en/cloud/paas/index.html （英語）
  - Infrastructure as a Service (IaaS) のドキュメント

    https://docs.oracle.com/cd/E83857_01/iaas/index.html （日本語)

    https://docs.oracle.com/en/cloud/iaas/index.html （英語）

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud Platform – 各種参考資料 (2)

■ **公開文書：**

- Oracle Cloud公式ブログ （日本語）

  https://community.oracle.com/groups/oracle-cloud-japan-blog

- Oracle Database Cloud を使ってみよう（日本語）

  https://www.oracle.com/technetwork/jp/database/articles/minamin-cloud/index-3900178-ja.html

- 使ってみよう！Oracle Java Cloud Service（日本語）

  http://www.oracle.com/webfolder/technetwork/jp/ondemand/ddd2015/b1.pdf

- Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう - チュートリアル集（日本語）

  https://community.oracle.com/docs/DOC-1019313

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud 公式ブログ にて情報配信中

https://community.oracle.com/groups/oracle-cloud-japan-blog

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle Cloud Platform オンボーディングサイト

ユーザー管理ってどうしたらいいの？
課金の仕組みは？
サポートサービスを利用したい！
初心者向けのドキュメントは？

初めてOracle Cloudをご利用になるお客様を支援する情報を掲載

- **Oracle Cloud Platform サービスのご案内**
  Oracle Cloud Portal利用方法、ポリシー、課金などガイド
- **FAQ：よくあるご質問 / 作業手順ガイド**
  管理者のパスワード変更方法や、ユーザー管理方法、課金・残高の確認方法などのFAQと作業手順のガイド
- **オラクルクラウドのサポートガイド**
  Oracle Cloud Supportポータルの利用ユーザー登録・管理や、SR起票方法のガイド
- **PaaS/IaaS初めてガイド**
  DBCS、JavaCS、Computeなどを初めて利用される方向けの各種チュートリアルへのリンク

■ **公開サイト**：https://blogs.oracle.com/oracle4engineer/oracle-cloud-platformonboarding-session

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Learn Oracle from Oracle

Oracle Cloud Learning Subscription

いつでも学べる
1 年間のサブスクリプション形式の
オンライントレーニングなので
必要な時にいつでも受講可能

クラウド環境を実際に使える
学習した内容はコースごとに用意された
クラウド環境で確認可能

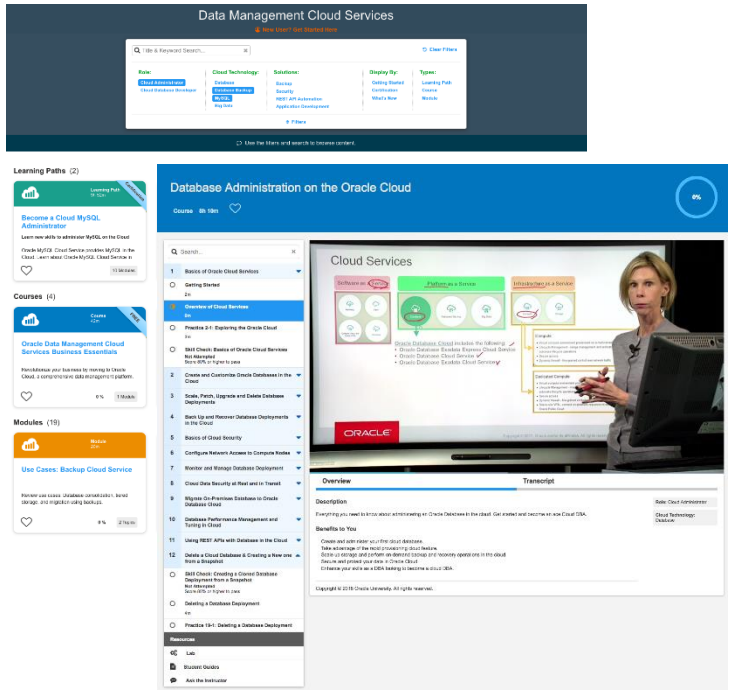
包括的なカリキュラム
学習者の目的に合わせたラーニングパスで
概要から高度なトピックまで体系的に学習可能
8 つの Cloud Learning Subscription で複数の
PaaS/IaaS サービスに幅広く対応

アップデートにも対応
クラウド・サービスのアップデートに
あわせて学習コンテンツを更新

無償コンテンツ公開中
[Free] とマークされているコンテンツは
無償で視聴可能

オラクルのクラウドをより円滑にご利用いただくために

Oracle University ではオラクルのクラウドの概要から開発、運用管理のための知識まで
幅広く体系的に習得できるトレーニング・サービスをご提供しています。



Oracle Cloud Infrastructure
Data Management
Application Development
Integration
Business Analytics
Management
Content and Experience
Security

定価: 各 **388,152** 円 (税込)

1 ユーザー/ 1 年間利用可能

Oracle PartnerNetwork 会員様は、パートナー特別価格で受講いただけます。
また、他の割引契約、またはキャンペーンと併用することはできません。

オラクルユニバーシティ お問合わせ窓口
ORACLE UNIVERSITY
TEL 0120-155-092
URL http://www.oracle.com/jp/education/

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Integrated Cloud

Applications & Platform Services

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

ORACLE®